

大正四年五月三十日

日曜日

印 刷 局



○第二十六回 帝國議會衆議院議事速記錄第六號

大正四年五月二十九日(土曜日)午後一時九分開議

議事日程 第五號 大正四年五月二十九日

午後一時開議

- 第一 染料醫藥品製造獎勵法案(政府提出)  
 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉  
 第三 無盡業法案(政府提出)  
 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉  
 第五 貯蓄銀行條例中改正法律案(政府提出)  
 第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉  
 第七 軍艦水雷艇補充基金特別會計法廢止法律案(政府提出)  
 第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉  
 第九 明治四十一年法律第十五號廢止法律案(政府提出)  
 第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉  
 第十一 帝國學士院學術獎勵金特別會計法廢止法律案(政府提出)  
 第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉  
 第十三 帝國學士院學術研究獎勵金委任經理ニ關スル法律案(政府提出)  
 第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉  
 第十五 明治三十三年法律第五十號中改正法律案(政府提出)  
 第十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉  
 第十七 教育基金法案(政府提出)  
 第十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉  
 第十九 衆議院議員選舉法中改正法律案(森田小六提出)  
 ○議長(島田三郎君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス  
 (書記朗讀)

- 一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ  
 無盡業法案  
 貯蓄銀行條例中改正法律案  
 軍艦水雷艇補充基金特別會計法廢止法律案  
 明治四十一年法律第十五號廢止法律案

大正四年五月三十日

日曜日

印 刷 局

帝國學士院學術獎勵金特別會計法廢止法律案  
 帝國學士院學術研究獎勵金委任經理ニ關スル法律案  
 明治三十三年法律第五十號中改正法律案  
 教育基金法案

貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ  
 日本勸業銀行法中改正法律案  
 農工銀行法中改正法律案  
 北海道拓殖銀行法中改正法律案  
 一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

刑法中改正法律案  
 提出者 高木益太郎君 野添宗三君  
 刑事訴訟法中改正法律案  
 提出者 高木益太郎君 野添宗三君  
 提出者 瓦斯事業取締法制定ニ關スル建議案  
 提出者 才賀藤吉君  
 地方裁判所支部ノ權限復舊ニ關スル建議案  
 提出者 津原武君 橋口秀雄君 鈴木寅彦君  
 田村新吉君 今村七平君  
 菊池武德君

議院法中改正法律案  
 提出者 根本正君 三土忠造君 野村嘉六君  
 野添宗三君 児玉亮太郎君 川口木七郎君  
 田村新吉君 今村七平君 才賀藤吉君  
 菊池武德君

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ  
 露英兩國禁酒令ニ關スル質問  
 提出者 根本正君 (左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)  
 昨二十八日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

鐵道敷設法中改正法律案  
 清水隆徳君 久須美東馬君 福井三郎君  
 飯塚彌一郎君 伊東知也君 高島順作君  
 渡邊修君 白川友一君 才賀藤吉君  
 作業會計法中改正法律案外二件  
 森丘覺平君 安東敏之君 大岩勇夫君

岩崎彦雄君 川上榮太郎君 金子元三郎君 犬飼源太郎君 平田禎君  
 石橋爲之助君 小林仲次君 伊藤恭之助君 伊藤平君 市原又次郎君  
 高田耘平君 竹内明太郎君 河崎助太郎君 堀三太郎君 尾崎元次郎君  
 大正四年勅令第十一號(承諾ヲ求ム件) 初見八郎君 杉山東太郎君 室木彌次郎君 堀三郎君  
 織田了君 大堀孝君 奥村七郎君 津原一郎君 武君  
 工藤吉次君 守屋此助君 鳩山一郎君  
明治四十五年一度豫備金支出ノ件外十件(承諾ヲ求ム件)

箕浦勝人君 鈴木久次郎君 鳥居錦次郎君 鈴木悌一郎君 野添宗三君 町田忠治君  
 堀切善兵衛君 吉植庄一郎君 高木正年君 山本悌一郎君 古谷久綱君 木村平右衛門君  
 今村七平君 田川大吉郎君 齋藤桂次君 菊池武德君  
 ○議長(島田三郎君) 會期モ短イコトアリマスカラ、本會開會中モ、委員會ヲ開キ得ルコトノ其御承認ヲ得タイ

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メマス、其通り決シマス、次ニ作業會計法  
 中改正法律案外一件委員會、是ハ本日ノ午前十時ヨリ委員長理事ヲ互選シテ、引  
 繢キ會議ヲ開クコトニナシテ居リマシタガ、流會致シマシタ、然ルニ此案ハ豫算二關係シ  
 テ居リマスルノア、至急ヲ要スルモノアリマスカラ、唯今ヨリ直チニ委員長理事ヲ互選  
 ナサレテ引續キ會議ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○鹿島秀齋君 唯今ヨリ帝國鐵道會計法中改正法律案外一件ノ委員會ヲ開キタ  
 イト存ジマスカラ、許可ヲ希望シマス

○議長(島田三郎君) 前ニ御諮リヲ致シマシタ通リ、是カラハ強イテ許可ヲ御取ニ  
 ナラズニ、委員會ハ本會會議中ニ御開キニナシテモ差支ゴザイマセヌ、唯今御請求ノ通  
 リ——是ヨリ會議ヲ開キマス、日程第一、染料醫藥品製造獎勵法案ノ第一讀會ヲ開  
 キマス、河野農商務大臣——朗讀ヲ省略シマス

### 第一 染料醫藥品製造獎勵法案(政府提出)

#### 第一 読會

#### 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(農商務大臣河野廣中君登壇)

○農商務大臣(河野廣中君) 染料醫藥品製造獎勵法案ニ付テ(「高聲ニ願ヒマス」  
 ト呼フ者アリ)本案ノ大體ノ説明ヲ致シマス、這般歐洲ノ戰亂ノ爲メニ染料ノ輸入ガ  
 一時ニ杜絶致シマシタ、染織物等ノ工業ニ對シテハ、至大ナル影響ヲ生シ來リマシタ  
 (高聲ニ願ヒマス「ト呼フ者アリ)而シテ内地ニ於テ相當ノ染料ノ原料ハ出來得ルノデ  
 アリマス、併シ之ニ要スル原料ハ外國品ニ比シテ大層高價アリマス、又技術上ニ於キ  
 マシテモ研究ヲ要スベキ事項が少ナクナインアリマス、故ニ即今ノトコロニ於キマシテハ、此  
 案ニ從事スルコトヲ計畫致シマシテ、此歐洲ノ變亂ノ終熄後ニ於キマシテ、又外國品ノ  
 競争ガアツテ、之ニ壓倒セラルト云フ虞ヲ懷イテ居リマス、ソレデ此著手計畫ヲ躊躇ス  
 ルト云フ現狀ノ狀態アリマス、サレバ此技術上及此經濟上ノ關係ニ於キマシテ、十分  
 基礎アル發達ヲ爲スニ至ルマデハ、之ニ相當ノ補助ヲ爲スニアラザレバ、此際ニ此業ノ  
 發達ヲ期スル事が出來マセヌノガ今日ノ狀態アリマス(「開エマセヌナ」ト呼フ者アリ)依  
 テ此十年間ニ瓦リマシテ染料ノ製造業ヲ營ム株式會社ニ對シテ、相當ノ補助ヲ爲シテ、

第一條 本法ニ於テ染料ト稱スルハ「アニリンソルト」、「アニリン」染料、「ア  
 リザリン」染料及人造藍ヲ謂ヒ醫藥品ト稱スルハ勅令ヲ以テ指定スル醫  
 藥品ヲ謂フ

第二條 帝國法律ニ依リ設立シタル株式會社ニシテ其ノ資本ノ半額以上及  
 議決權ノ過半數カ帝國臣民ニ屬スルモノ命令ノ定ム所ニ依リ帝國ニ於  
 テ染料又ハ醫藥品ノ製造業ヲ營ムトキハ本法施行ノ日ヨリ十年ヲ限リ之  
 ニ補助金ヲ交付スルコトヲ得

第三條 補助金額ハ會社ノ配當シ得ヘキ利益ヲ每營業年度ニ於テ其ノ拂込  
 株金額ニ對シ年百分ノ八ノ割合ニ達セシムヘキ金額トス  
 前項ノ利益及補助金額ノ算出ニ付テハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 會社ハ主務大臣ノ認可ヲ經ルニ非サレハ利益ノ處分ヲ爲スコトヲ  
 得ス

第五條 前二條ノ規定ハ會社カ他ノ業務ヲ兼營スル場合ニ於テ命令ノ定ム  
 ル所ニ依リ染料又ハ醫藥品ノ製造業ニ關シ特別ノ計算ヲ立てタルトキ其  
 ノ利益及補助金額ニ付之ヲ準用ス

第六條 主務大臣ハ補助金ノ交付ヲ終ル迄ハ會社ノ業務ヲ監督レ之カ爲必  
 要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第七條 主務大臣ハ會社カ法令若ハ補助ニ附シタル條件ニ違反シ又ハ之ニ  
 基キテ爲シタル處分ニ從ハサルトキハ之ニ對シ補助金ノ全部又ハ一部ヲ  
 交付セサルコトヲ得

第八條 許款ニ因リ會社カ補助金ヲ受ケタルトキハ其ノ金額ヲ償還セシム  
 前項ノ償還金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取  
 特權ノ順位ハ國稅ニ次クモノトス

第九條 染料又ハ醫藥品ノ製造ニ附隨シ勅令ヲ以テ指定スル石炭乾涸副生  
 物ヲ原料トシテ藥品又ハ香料ヲ製造スル場合ニ於テハ之ヲ染料又ハ醫藥  
 品ノ製造ト看做ス

第十條 勅令ヲ以テ指定スル火藥爆藥ノ原料藥品ノ製造ハ之ヲ染料又ハ醫  
 藥品ノ製造ト看做ス

#### 附則

此工業界ノ當面ノ急ニ應ズルト共ニ、一面事業ノ振興ヲ期スル永遠ノ基礎ヲ立テタイ

ト云フノガ、即チ本案ノ趣旨アリマス、尙此醫藥及火藥、爆藥等ノ原料藥品中ニ於キマシテモ、是が供給ヲ歐洲ニ仰イテ居リマシタノアリマスガ、是亦戰亂ノ爲ニ輸入杜絶ト云フコトニ至リマシタガ爲ニ、衛生上及軍事上ニ至大ノ支障ヲ來シテ居ル今日ニアリマス、因テ是等ノ諸品ノ製造業ヲ營ム株式會社ニ對シテモ、亦相當ノ補助ヲ爲スノ必要ガアリマス、是が本案ヲ制定セムトスルノ大要旨アリマス、庶幾クハ諸君御審議ノ上、ドウカ協賛アラムコトヲ希望致シマス

(拍手起ル)

○相島勘次郎君 議長  
(相島勘次郎君登壇)

○議長(島田三郎君) 相島勘次郎君

○相島勘次郎君 私ノ政府ニ向シテ質問ヲシテ見タイコトハ、極ク簡単アリマスケレドモ、是ハ委員會テナク此席上ニ伺フ方ガ詰リ日本ノ現時ノ有様ニ微シテ甚タ宜イコト、思フカラシテ、私ハ此處ニ問フノアリマスガ、日獨國交斷絕ノ結果トシテ、獨逸カラ來ルトコロノ染料ガ少クナシテ居ルト云フコトハ本員モ認メテ居リマス、併ナガラ此必要ナル品物ハ國交が斷絕致シマシテモ、亦何等カノ方法ヲ以テ必ズ入シテ來ルモノアリマス、ソレハ丁度水ノ低キニ就クガ如クニ、必ズソレハ入シテ來ルモノアル、ソレ故ニ日本ニモ國交斷絕ノ後ニ何等カノ方法ヲ以テ入シテ來ルヤ否ヤドウカ、ソレカラ入シテ來テ居ルモノトスレバ、從來來テ居ツタ其高ノ何割位來テ居ルカト云フコト、最近ノ調ニ依シテ

私ハ同ヒタノアリマス、ソレガ若シモ澤出來テ居レバ、斯ウ云フ風ニ來テ居ルカラ何モ

斯ンナ規則ヲ拵ヘナクテモ宜カラウヤナカニカト云フ 意味テナクシテ、幾ラテモ内緒アリ

外ノ國ヲ經テナリ來テ居ルト云フコトハ、ソレヲ世ノ中ガ知ルト云フコトハ、大變ニ品物ガ無イ品物ガ無イト云シテ、無理ヤリニ相場ヲ引上ゲテ行クコトヲ、多少緩和スルコトガ出

來ヤシナイカト思フカラシテ私ハ聞クノアルカラ、唯澤出來テ居ルト云フコトヲ知ラシテ、

ソレガタメニ吾々共ノ反対デモ受ケテハ相成ラスト云フヤウナコトデ、事ヲ祕密ニスルト云

フヤウナコトガアシテハ甚ダ面白クナノアリマスカラ、其點ヲ御了解下サリマシテ御答

辯ヲ願ヒタノアリマス(拍手起ル)ソレカラモウ一ツハ此農商務省ニドンナニ之ヲ獎勵

シヤウトシテモ、關稅ノ方面ニ於テ、大藏省ニ於テ、再ビ日獨兩國が關稅ノ協定ヲスル

時分ニ、同シク之ヲ國定稅率ニシテ、サウシテ此稅ダケハ協定稅率ニシナイト云フヤウナ

考テモ持シテ居ヌナラバ、是ハ米ノ調節ヤ何カト違シテ一朝一夕ニ出來ルモノナカニカラ

シテ、十年位補助シタカラト云フテ、其十年後ニ補助ガ止シタカラバ、此關稅政策ニ於

テ何トカ城壁ヲ築イテ置カナケレバ、此事業ト云フモノハ一朝瓦解スルノアルカラ、ナ

カノ之ヲ企テル人ガナカラウト思フノアル、ソレ故ニ關稅ノ方面ニ於テ大藏省ハドウ

云フ考ヲ有シテ居ルカラト云フコトヲ、今此處ニ聞イテ置キタイト思ヒマス、ソレカラ第三ハ

此支那ノ方面、支那ト云フ國ハ御存知ノ通り古イ國デアツテ、イロイロ是ハ天產物ヤ

其他染料ト云フモノニ付テモ、隨分イロイロナモノガアル國デアルカラ、サウ云フ國ニ就

テ我農商務省ハ多少ノ研究ヲシテアルヤドウカソレヲ伺ヒタ、其外イロイロナ細カイ事ハ是ハ委員會ニ伺ヒマスガ、此三點ダケラ今此處ニ私ハ同ヒタノアリマス

○議長(島田三郎君) 岡政府委員

(政府委員岡實君登壇)

○政府委員(岡實君) 唯今ノ御質疑ニ御答致シマス、時局以來殆ド染料ノ輸入ハ全然絶エタガ如キ状況デゴザリマシテ、ソレガタメニ極ク騰貴率ノ低ニモ二倍、三倍、甚シキニナリマスト十數倍或ハ數十倍ノ價ヲ示シテ居ルノテゴザリマス、是ニ於テガ政府ニ於キマシテモ各地ニ打電ヲ致シマシテ、何等カノ方法ヲ以テ内地ノ染料ヲ得ル途ヲ講シタノデゴザリマスルガ、英吉利ニ致シマシテモ、佛蘭西ニ致シマシテモ、亞米利加ニ致シマシテモ、將タ伊太利ニ致シマシテモ、何レモ其染料ノ大部分ヲ獨逸ニ仰イテ居リマスガタメニ、殆ド是等ノ國カラ間接ニ入レル見込モ全然無クナタノゴザイマス、而シテ内地ニ使ヒマスル品物ニ付テハ尙忍アベシトスルモ、海外ニ輸出致シマスル品品ニハ、最モ顯著

ナル惡影響ヲ將ニ及ボサント致シテ居ル狀況デゴザイマスルタメニ、此上ハ何等カノ方法ヲ以テ内地ニ拵ヘルヨリ途ガナイト云フコトニ決定致シマシタ次第ゴザイマス、而シテ最近ニ至リマシテハ當業者モ餘リ其騰貴ノ劇イノニ因リマシテ、其結果支那ヘ數十人ノ人間が出張シ、各地ニ於ケル染料ヲ搔集メマシテ結果、四月五月ノ兩月ニ亘リマシテハ稍多クノ染料ガ入りマシテゴザリマスルガ、併ナガラ時局以來今日ニ至リマスルマデ、全局ニ於テ入リマシタ高ハ例年ニ比シテ其歩合ガ最モ少ナインゴザリマス、第一ノ御問ハ關稅ニ關係致シテ居ツタヤウデゴザリマスルガ、是ハ大藏省ノ政府委員カラ御答致シマセウト存ジマス、第三點ハチヨット伺ヒ洩シマシタガ、ドウ云フ御趣意デゴザイマシタカ

○相島勘次郎君 イヤソレデ宜シウゴザイマス、後ハ大藏省カラ……

○議長(島田三郎君) 若槻大藏大臣

(大藏大臣若槻禮次郎君登壇)

○大藏大臣(若槻禮次郎君) 此法律案ニ規定シテアリマスヤウナ品物ハ、多クハ工業品ノ原料品ニナシテ居リマスノアリマス、其價格が餘り騰貴シテハ困ル部類ニ屬スル品

物デアルノアリマス、ソレ故ニ時局ガ終リマシテ外國カラ廉イ染料、其他此處ニ記載シテアリマスヤウナ化學工藝品ガ輸入セラレマス場合ニハ、關稅ヲ高メテ内地ノ事業ヲ保

護シヤウト致シマスルト、全體ニ於テ相當ニ廉クナルノヲ希望セラル、品物ガ、高イ値段デ

時局ノ後モ使ハレナケレバナラヌ虞ガアルノアリマス、大體ハ關稅ヲ上ゲテ保護スルト云

コトハ致サナイ考デアルノアリマス、ソレガタメニ折角出來タ會社ガ損害ヲ受ケルヤウナ

コトガアシテハナリマセヌカラ、唯今法案ニ規定シテアリマスルヤウニ、或年間利益ヲ保障シテ、會社ノ基礎ガ固クナルマデハ、政府デ其利益ヲ保障シヤウト云フ方法ヲ取リマシタ

ノデ、此方法ニ依シテ會社ノ成立ヲ助ケテ關稅ノ形式ニ於テハ、成ルベク斯様ナ工業ノ

保護ヲスルト云フコトヲ致サナイ考デ居ルノアリマス

至リマシテ若干ノ關稅ヲ上ゲルコトガ、格別此品物ノ値段ヲ騰ゲスシテ、會社ノ基礎ヲ

固クスルコトニナリマスナラバ、其時ニ至テハ十分考慮シナケレバナラヌト思ヒマスガ、唯

今主義トシテ申上ゲレバ、斯様ナ品物ハ成ルベク價ノ低カラシコトヲ希望スル爲メニ、關

稅ヲ上ゲテ保護スル方法ハ或ルベク採ラヌヤウニシタ考デ居ルノアリマス

○吉原止隆君 議長

(吉原止隆君登壇)

○議長(島田三郎君) 吉原正隆君

○武藤金吉君 議長

○吉原正隆君 私ノ間違ッテ居リマシタ、十七ノ方ニ對シテデス

○議長(島田三郎君) 通告ガアリマス

○武藤金吉君 農商務大臣及大藏大臣ニ此案ヲ實行スル前、現在ニ於キマシテ染料ノ高クナリ意ハ頗ル宜シヤウデアリマスルガ、此案ヲ實行スル後、現在ニ於キマシテ染料ノ高クナリ

マシタコトハ十倍乃至二十倍高クナツタ——高クナツタノミナラズ、尙現在ニ於テ染料が

拂底デ、在リマセヌ、現在本年ノ澤山ノ數千萬圓ノ絹織物綿織物等ノ輸出ヲ控ヘテ居リ、又内地用ノモノモ控ヘテ居ル、之ニ對シテハドウ云フ方法ヲ取リ積リテアリマスカ、

聽クトコロニ據リマスルト、清酒ノ防腐剤「サルチル」酸ノ如キハ大藏省ニ心配サレマシテ、免ニ角澤山値段ヲ上ダゲナイト間ニ合テ居ル、而シテ民間ニ使ヒマスル染料ニ付キマシテ

ハ何十倍上ダモ之ニハ少シモ農商務省、大藏省、御構ヒガナイ、是等ノ政府當局者ガ十分ニ心配ヲサレタナラバ「サルチル」酸同様ニ方法ガ附イタノテアリマス、又此法律ヲ施行スル

前ニ現在ノコトハ農商務省、大藏省ハドウナサル見込デアリマスカ、又此法律ガ此通りニ必ズ行シテ、此染料及藥品ニ對シテ間ニ合ツテ往ク積リテアリマスカ如何デアリマスカ、又

第二ニハ此現在ノ混合物デ出來タ不正染料ヤ何カハ、盛ニ賣行カレテアルニ付テハ、農商務省ハ何ヲ以テヲ取締ル積リテアリマスカ、取締ノ見込等ハ少シモ立ツテ居ナ

イヤウデアリマス、是等ニ對シテハドウスル積デアリマスカ、詳細ノ御説明ヲ願ヒタ

(農商務大臣河野廣中君登壇)  
○農商務大臣(河野廣中君) 唯今ノ武藤君ノ御尋デアリマスガ、染料ノ取締ニ付テハ如何トモ取締ノ途ガナイノデアリマス、ソレデ種々ニ工夫ヲ致シテ居リマスガ、ソレカラ又諸方カニ——外國カラドウカシテ取入レタイト云ノノデ、是モ諸方ニ數回掛合ラ致シマシタガ、其取入レモ出來ヌ、ソコテ此事ニ付テ是非共拵ヘナケレバナラスト云フ方針ニ向シテ參リマシテ、多少ノ品ハ唯今内地ニ於テ即今出來掛ケテ居リマス、ソレデ取締ト云フ上ニ付テモ、種々攻究致シマシタガ、何分ニモ此取締が出來マセヌノデアリマス、大體ハ左様ナ有様デアリマス

○武藤金吉君 唯今農商務大臣ノ御答辯ハ私ノ問ニ副ヒマセヌ、要領ヲ得マセヌ能ク分ルヤウニモウ一應問ヒマセウ、私ノハ取締バカリデナ、此染料ノ内地ニ於ケル狀況ニ對シテ、農商務省ハドウ現在ヲ心配スルカ、斯ウ云フ問デアリマス  
(農商務大臣河野廣中君登壇)

○農商務大臣(河野廣中君) 現在是カラ先キハ、足ラナイモノニ對シテハドウスル見込デアルカト云フ御尋デゴザイマセウカ

○武藤金吉君 左様デス、現在足リナイモノニ對シテハ、此法律ヲ施行スル前ニハドウスル積デアルカ、斯ウ云フノデス  
○農商務大臣(河野廣中君) 是ガ即チ今ノ御答ヘシタ、即今ノ種類ニ依テ出來掛ケテ居ルト申シタノハソレデアリマス、本案ノ結果トシテ出來ル積リテアルト前ニ御答シタノデア

リマス、ソレカラソレコト外ニシテハ如何トモ途ガナイノデアリマス、内テ出來ルダケノモノハ、頻ニ出カシテヤルヨリ外ナシ、ソレカラ又此工業ハ實ハ技術ヲ要シテ居シテ此部分ニ於テナカニ研究ヲ此上ニモ加ヘナケレバナラヌヤウナモノガアリマスガ、ソレハ即今出來マシタコトハ十倍乃至二十倍高クナツタ——高クナツタノミナラズ、尙現在ニ於テ染料が

拂底デ、在リマセヌ、現在本年ノ澤山ノ數千萬圓ノ絹織物綿織物等ノ輸出ヲ控ヘテ居リ、又内地用ノモノモ控ヘテ居ル、之ニ對シテハドウ云フ方法ヲ取リ積リテアリマスカ、

聽クトコロニ據リマスルト、清酒ノ防腐剤「サルチル」酸ノ如キハ現ニ大藏省ニ心配サレマスカ、又セラレタノデアルカ、防腐剤ノ「サルチル」酸ノ如キハ、現ニ大藏省

トヲ止メマス、大藏大臣ニ此染料ノ輸入ニ付キマシテハ、何故ニ政府ハ此等ニ對シテ心配ヲシナイデアツカ、又セラレタノデアルカ、防腐剤ノ「サルチル」酸ダケハ或便宜ノタメニ便宜ヲ與ヘラレテ居ルノデアリマス、所管アルガタメニ「サルチル」酸ダケハ或便宜ノタメニ便宜ヲ與ヘラレテ居ルノデアリマス、

染料ハ民間ニ使フモノデアルカラ何十倍上ダモ構ハヌト云フ御考デアルカ、ソレトモ又手が及バナイノデアルカト云フコトヲ大藏大臣ニ尋ネマス

(大藏大臣若槻禮次郎君登壇)  
○大藏大臣(若槻禮次郎君) 「サルチル」酸ニ付テ世話ヲ致シマシタノハ御尋ノ通リテアリマス、是ハ全國ノ酒造業者ガ防腐剤ノナイタメニ、甚ダ心配シテ居シタノデアリマスカト、中間ニ立ツテ世話ヲ致シタノデアリマス、是ハ政府ノ豫算等ノ關係デハナイノデアリマス、全ク大藏省が好意ヲ以テ世話ヲ致シタ次第ニアリマス、ソレカラ染料等ノコトハ是ハ大藏省ノ所管デハアリマセヌカ、此法律ヲ提出シテ茲ニ染料ノ供給ノ缺チヨシテ居ノノ詳シコトハ農商務省ノ當局者カラ御答ニナリマス

○武藤金吉君 唯今若槻大藏大臣ノ御答辯ハ「サルチル」酸ハ酒ニアリマシテ、直接大蔵省ノ所管ニ屬シテ税ヲ取ルモノダカラ便利ヲ圖シテ遣シタ、染料ノ方モ大藏大臣ノ言ハレルトコロノ生産ヲ獎勵シテ、輸出ヲ増進スルト云フ大目的ニアリマス、此染料ニ對シテハ何十倍上ダモ品物ガ無クテモ、今日二十倍以上モ上ダモノガアリ、尙更ニ三十倍モ四十倍モ上ラムトスルモノガアル、果シテ然ラバ此染料ノタメニ、内地ノ輸出業ハ殆ト全滅セムトスル、此者等ニハソレハ官營デナイカラ構ハヌト云フ思召デアリマスカ、

此案ヲ吾々が審議スルニ付テモウ一應参考ニ伺シテ置キタ  
(大藏大臣若槻禮次郎君登壇)  
○大藏大臣(若槻禮次郎君) 染料ノ缺乏シテ居リマスコト、並ニ其價額ノ高イコトニ付テ、是デハ日本ノ織物業ノタメニ困フモノデアルト云フコトハ、政府モ武藤君ト同様ニ誠ニ當業者ノタメニ同情ニ堪ヘナイノデアリマス、ソレ故ニ出來得ルダケノ努力ハ致シマシタノデ、出來ルナラバ無論致スノデアリマス「サルチル」酸杯ハ割合ニ簡易ニ出來ルモノニアリマスカラ、政府ノ好意ニ依シテ幸ニ戰時ノ缺乏ヲ充タスコトガ出來タノデアリマス、染料ト雖モ容易ニ出來ルモノデアリマスレバ、無論政府ハ其事ヲ計ラウノデアリマスガ、物ニ依テハ左様ニ簡易ニ出來ルモノモアルノデアリマス、ソコテ唯今提出セラレタ法案ノ如クシテ、成ルベク染料ノ出來ルヤウニシタイト云フコトハ、武藤君ト政府ト其精神

ニ於テ全然同一デアルノデアリマス〔「唯誠意ヲ缺クノミ」又「ヒヤク」ト呼フ者アリ

ニヤラウトシテモ五年モ八年モ掛ルカラ、急ナ救援ノ方法ハ付カヌケレドモ、今度戰爭デヨ。

○済田寅治良君此提案第一回三話ヨミハ木立會社  
茲三十箇年ノ年限ヲ限ツアリマスガ、此十箇年ノ年限ヲ定期メラレタニ付キマシテハ、何等カノ根據ガアラウト思ヒマスカラ、其根據ノ大體ヲ伺ヒタイ、是が私ノ質問セントス  
第一デス、次ニ此中ニ資格ヲ規定シテアリマスガ、資本金ノ額モ會社ノ數モ限ツアリ

セヌ、シマスレバ、會社ニシテ五百万圓又ハ一千萬圓トシ。又小サイ會社が幾箇起キ。シテモ亦十箇年内アリマスナラバ、殆ド中途ニ至リマシテ成立致シマシテモ、尙ホ此注令ニ從ヒマシテ補助ヲ御與ヘニナル積リテアリマスカ、是ガ私ノ問ハント欲スル第二點アリマス、次ニ此會社ガ補給ヲ受クルノハ百分ノ八、即チ八朱ヲ以テ程度トシテアリマス。

ガ、若シ補助ヲ受ケル以上ノ餘程ノ利益ヲ生ジタル時分ニハ、補助ヲヘタル當時ノ間、關係上、之ニ向テ何等カノ政府ハ御制裁ヲ御加ヘニナル積リデアリマスカ、或ハ唯會社ニ一任シテ或時ニ大キナ利益ガ出來テモ、ソレハ勝手ニ配當ヲナサシシメテ、其基礎ノ如何ニハ御頓著ナク自由ニ放任セラレルノデアリマスカ、此三箇條ヲチヨット質問致シマス。

○政府委員（岡寶君） 唯今ノ御質問ニ私カラ御答致シタゞ、十箇年ト限リマシタゞ、ハ此染料ノ製造ハ、他ノ製造業ト異マシテ、技術上ノ研究ニ非常ナル盡力ヲ要ス。モノアアル、御承知ノ如ク猶免ノ例ヲ見マシテモ、一ツノ染料ノ發明ニ幾多ノ年月ヲ費

シテ居ル、我國ニ於キマシテモ極メテ簡易ナモノハ、或ハ一二三年ノ中ニ或ハ一年モ經ズ其クハ六箇月テ出來ル物モアルト存シマスガ、大體我國ニ需要サレテ居ル染料ノ大部分ヲ

研究シテルマニニハ、十箇年位ノ星宿ハ必要デアルト考ヘマシテ、ソレデ十箇年ト云フコト  
ヲ指定致シマシタ、次第デアリマス、又第一ノ御質問ノ會社ノ資格、是ハ命令ノ定ム  
所ニ依テ十分ナル資格アルモノデナケレバ許サナイ貴リアリマス、隨ツテ餘リ小サナ會社

若クハ個人等ニハ、一切之ヲ許容セザル積リデアリマス、又利益金ノ配當ニ付キマシテハ別ニ認可ヲ得セシムルノ制度ヲ立テマシテ、利益アル場合ニハ配當シ、濫ニ損失アル場合ニハ、政府ノ補給ニ依ルト云フガ如キコト無カラシムルコトヲ期シテ居リマス

○池田寅治郎君 年限ニ付テ少シ趣意ガ徹底セヤウアリマスカラ伺ヒマスガ、私  
十箇年ガ長トイ云フノデハナクシテ、寧ロ薬品乃至染料ノ如キモノハ、研究ニ研究ヲ  
ヘ、調査ニ調査ヲ遂ケテ仕事ヲ大成スルニハ、十箇年デハ或場合ニ於アハ短キニ失シ  
セヌカト云フコトヲ懸念シテ御尋シタノアリマスカラ、唯長イノデハナイ、斯ウ云フ御笑  
辯テハ少シ私ハ満足シ兼ネマズ

〔政府委員岡實君登壇

○政府委員(岡實君) 染料ノ全部ニ瓦<sup>ワテ</sup>研究ヲ遂<sup>ス</sup>ゲマスルニハ、或ハ十箇年<sup>テハ</sup>足致シマスカト存シマス、併ナガラ現在我國ニ需要サレテ居ル、最モ需要ノ廣キ普通ノ染料ヲ日本ニ拵ヘルト云フテハ、十箇年ヲ以テ十分ナリト認メテ居リマス

署ノ政府委員が説明ノ如ク染料ノ研究林トアラマノ米價調査ノサルニ明日ラヤレルト云フモノハナイカラ、餘程年數が掛ルト云フコトハ政府モ分シテ居ルラシイ、コデ何故斯ウ云フ案ヲ出すスカト云フト、戦争ノ爲メニ材料ガ來ナクナツテ因ツタカラ、今魯

ニヤラウトシテモ五年モ八年モ掛ルカラ、急ナ教濟ノ方法ハ  
クヨク考ヘテ見ルト、斯ウ云フ物ハ自分ノ國ガ假令價ガ  
ヘネバナラヌト云フ趣意ノ下カラ出來ナケレバナラヌト思フ、  
業品デアルカラ、稅ノ方ハ高クナイ積リダト言シテ居ル、ソレ  
因リ染料云々障碍渺少ナラズ依テ製造者ニ補助金ヲ交付  
ヤルヤウニ書イテアッテ、理由ガ能ク徹底シマセ、是ハ大業  
會ヲ開クマニニ能ク御相談ナサツテ、唯一時ノ權變ノ爲メ  
テ、今度ノ戰爭ノ動機ニ依ツテはドウシテモ日本國デ拵  
ラ出來タナラバ出來タト云フコトニシテ委員會ニ臨ンテ貰ヒ  
置キマス

○議長(島田三郎君) 發議ガアリマセヌケレハ次ノ日程

〔賛成タケ〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 御異議がナイト認メマスカラ荒川

三、無盡業法案第一讀會、朗讀ハ略シマス

第三 無盡業法案(政府提出)

無盡業法案

○荒川五郎君 十八名ノ委員ヲ議長ニ於テ指名セラレ  
得ス

第一條 本法ニ於テ無盡ト稱スルハ一定ノ口數ト  
掛金ヲ拂込マシメ一口毎ニ抽籤入札其ノ他類似  
シ金錢ノ給付ヲ爲スヲ謂フ無盡類似ノ方法ニ依  
付ヲ爲スモノ亦同シ但シ賭博又ハ富籤ニ類似ス  
第二條 無盡ノ營業ハ主務大臣ノ免許ヲ受クルニ  
得ス

營業トシテ無盡ノ管理ヲ爲スハ之ヲ無盡業ト看  
第三條 無盡業ノ免許ヲ受ケムトスルトキハ資本  
大臣ニ申請スヘシ

無盡業ヲ營ム會社ノ資本又ハ財產ヲ目的トス  
金錢ヲ以テスル拂込金額ハ一萬五千圓ヲ下ル  
第一項ノ申請ヲ爲スニハ申請書ニ事業方法ヲ記  
約款ヲ添附シ會社ニ在リテハ尙定款ヲ添附ス  
第四條 無盡業ヲ營ム會社ハ其ノ商號中ニ無盡  
會社ニ非サル無盡業者ハ其ノ營業ヲ表示スルダ  
盡ナル文字ヲ用ウヘシ

無盡業者ニ非サルモノハ其ノ商號又ハ營業ヲ表  
文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第五條 無盡業ヲ營ム會社ハ他ノ事業ヲ兼營ス  
會社ニ非サル無盡業者カ他ノ事業ヲ兼營セム  
許ヲ受クヘシ

トスルトキハ主務大臣ノ認  
表示スル名稱中ニ無盡ナル  
右稱ヲ附シ其ノ名稱中ニ無  
記載シタル書面及無盡契約  
コトヲ得ス  
トスルトキハ主務大臣ノ認  
表示スル名稱中ニ無盡ナル  
右稱ヲ用ウヘシ  
ヘシ  
ノル文字ヲ用ウヘシ  
本金額及營業所ヲ定メ主務  
金出資ノ總額ハ三萬圓其ノ  
以ノ方法ニ依リ掛金者ニ對  
派リ金錢又ハ有價證券ノ給  
ヘルモノハ此ノ限ニ在ラス  
一非サレハ之ヲ爲スコトヲ  
君ノ動議ニ決シマス、日程第  
第一讀會  
シコトヲ望ミマス  
ニ移リマス

第六條 無盡業者ノ營業區域ハ道府縣ノ區域内ニ於テ之ヲ定メ會社ニ在リテハ定款中ニ其ノ他ノ者ニ在リテハ事業方法書中ニ之ヲ記載スヘシ  
第七條 無盡業ヲ營ム會社ノ合併ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第八條 無盡業者カ資本金額、營業所、事業方法又ハ無盡契約款ヲ變更セムトスルムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ會社カ定款ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

主務大臣ハ必要ト認ムルトキハ事業方法又ハ無盡契約款ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第九條 無盡業者ハ左ノ方法ニ依ルノ外其ノ營業上ノ資金ヲ運用スルコトヲ得ス

一 國債證券、地方債證券其ノ他特別ノ法令ニ依リ設定シタル會社ノ債券又ハ株券ノ買入

二 前號ノ有價證券ヲ擔保トスル貸付

三 銀行ヘノ預ケ金又ハ郵便貯金

第十條 無盡業ヲ營ム株式會社カ會社財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ無盡契約ニ基ク會社ノ債務ニ付各取締役ハ連带シテ其ノ辨償ノ責ニ任ス但シ取締役カ任務ヲ怠ラサリシコトヲ證明シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ責任ハ取締役カ退任ノ登記ヲ爲シタル後二年間仍存續ス  
第十一條 無盡業者ハ何人ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス自己ノ計算ニ於テ其ノ經營スル無盡ニ加入スルコトヲ得ス

會社ニ非スシテ無盡ノ管理ヲ爲ス無盡業者ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ニ限り其ノ管理スル無盡ニ加入スルコトヲ得ス

第十二條 無盡業ヲ營ム會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、監査役及使用人ハ何人ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス自己ノ計算ニ於テ會社ト無盡契約ヲ爲シ又ハ會社ノ管理スル無盡ニ加入スルコトヲ得ス

第十三條 無盡業者ハ無盡ノ缺口又ハ掛金ノ拂込ヲ爲ササル者アル場合ト雖第一回ノ抽籤入札ノ後ハ給付金額ヲ減少シ又ハ掛金額ヲ増加スルコトヲ得ス

第十四條 無盡ノ管理ヲ爲ス無盡業者ハ其ノ管理スル無盡ノ掛金ノ拂込ナキ場合ニ於テ掛金者ニ代リ掛金ノ拂込ヲ爲ス責ニ任ス

第十五條 無盡ノ管理ヲ爲ス無盡業者ハ其ノ管理スル無盡ノ加入者ニ代リ掛金ノ拂込及給付金ノ支拂ニ關シ一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲スス但シ各加入者ハ拂込ヲ了セサル掛金額ヲ超エテ執行ヲ受クルコトナシ

掛金ノ拂込又ハ給付金ノ支拂ニ關スル訴ニ於テハ無盡ノ管理者ハ原告又ハ被告ト爲ルコトヲ得

前項ノ訴ニ於テ言渡シタル判決ハ無盡ノ加入者ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス但シ各加入者ハ拂込ヲ了セサル掛金額ヲ超エテ執行ヲ受クルコトナシ

第十六條 無盡業者ハ毎半年事業ノ報告書ヲ作リ主務大臣ニ提出スヘシ  
第十七條 無盡業者ニ依リ之ヲ公告スヘシ

定メタル方法ニ依リ之ヲ公告スヘシ

第十八條 無盡業者ハ各無盡ニ付掛金入札ノ都度其ノ收支ノ計算ヲ帳簿ニ記載シ次回ノ抽籤入札ノ前日迄ニ之ヲ營業所ニ備ヘ置クヘシ  
第十九條 掛金者ハ無盡業者ニ對シ營業時間内何時ニテモ前半年末貸借對照表及前條ノ帳簿中其ノ加入シタル無盡ニ關スル部分ノ閲覽ヲ請求スルコトヲ得

第二十條 無盡業ヲ營ム會社ハ資本又ハ出資ノ總額ニ達スル迄ハ利益ヲ配當スル毎ニ準備金トシテ其ノ利益ノ十分ノ一以上ヲ積立ツヘシ

第二十一條 主務大臣ハ何時ニテモ無盡業者ヲシテ其ノ事業報告ヲ爲サシメ又ハ業務及財産ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得

第二十二條 主務大臣ハ無盡業者ノ業務又ハ財産ノ狀況ニ依リ掛金者ノ利益ヲ保護スル爲必要ト認ムルトキハ其ノ事業方法ノ變更又ハ事業ノ停止ヲ命シ其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得無盡業者カ法令、定款又ハ主務大臣ノ命令ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スヘキ行爲ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ事業ノ停止若ハ役員ノ改任ヲ命シ又ハ免許ヲ取消スコトヲ得

第二十三條 主務大臣ノ免許ヲ受ケヌシテ無盡業ヲ營ミタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十四條 左ノ場合ニ於テハ會社ニ非サル無盡業者又ハ無盡業ヲ營ム會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、監査役ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

一 第五條、第八條第一項、第九條、第十一條、第十三條、第十六條乃至第十八條ノ規定ニ違反シタルトキ

二 第六條ノ規定ニ依リ定メタル營業區域外ニ於テ營業ヲ爲シタルトキ

三 第八條第二項又ハ第二十二條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ爲シタル命令ニ違反シタルトキ

四 正當ノ理由ナクシテ第十九條ノ閲覽ノ請求ヲ拒ミタルトキ

五 第二十一条ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サス又ハ檢查ヲ妨ケタルトキ

六 第二十二條ノ規定ニ違反シ無盡業者ト無盡契約ヲ爲シタル會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、監査役若ハ使用人又ハ會社ニ非サル無盡業者ノ使用人八十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

七 無盡業者前項ノ無盡契約ヲ爲シタルトキハ會社ニ非サル無盡業者又ハ會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、監査役ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

八 無盡業者前項ノ無盡契約ヲ爲シタルトキハ會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、監査役ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

九 第二十六條 第二十條ノ規定ニ違反シタルトキハ會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、監査役ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

十 第二十七條 第四條第三項ノ規定ニ違反シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ過料ニ處ス

十一 第二十八條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ本法ニ定メタル過料ニ之ヲ準用ス

十二 第二十九條 本法中主務大臣ノ職權ニ屬スル事項ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

十三 第三十條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

十四 第三十一條 本法施行ノ際現ニ無盡業ヲ營ム者ハ本法施行前ニ爲シタル無

十五 第三十二條 附則

盡契約ノ完了スル迄仍其ノ契約ニ關スル業務ニ限り之ヲ繼續スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ第十五條、第十六條、第十八條、第二十一條乃至第二十四條及第二十八條ノ規定ヲ準用ス

第三十二條 本法施行ノ際迄六月以上引續キ他ノ事業ト共ニ無盡業ヲ營ム會社カ無盡業ノ免許ヲ申請シ之ヲ免許スル場合ニ於テ主務大臣ハ其ノ免許ト共ニ五年内ノ期間ヲ定メ其ノ營メル他ノ事業ノ兼營ヲ認許スルコトヲ得

第三十三條 本法施行ノ際迄六月以上引續キ他ノ事業ト共ニ無盡業ヲ營ム者カ無盡業ノ免許ヲ申請シ之ヲ免許スル場合ニ於テ主務大臣ハ其ノ免許ト共ニ五年内ノ期間ヲ定メ其ノ營業區域外ニ於ケル營業ノ繼續ヲ認許スルコトヲ得  
前項ノ規定ニ依リ主務大臣ノ認許ヲ受ケ其ノ營業區域外ニ於テ爲シタル無盡契約ニ關シテハ無盡業者ハ認許期間満了後其ノ契約ノ完了スル迄仍其ノ契約ニ關スル業務ニ限り之ヲ繼續スルコトヲ得

第三十四條 本法施行ノ際迄六月以上引續キ無盡業ヲ營ム會社カ無盡業ノ免許ヲ申請スル場合ニ於テハ其ノ資本又ハ出資ノ金錢ヲ以テスル拂込金額ニ付第三條ノ規定ヲ適用セス

(大藏大臣若規禮次郎君登壇)

○大藏大臣(若規禮次郎君) 近頃無盡講又ハ賴母子講ニ類似致シマシタ方法ヲ以テ、金錢ノ融通ヲ爲ス營業者ガ大變ニ増加致シマシテ、最近ノ統計ニ依ヅテ見マスレバ、其營業者ノ數が八百二十一、其會社ノ資本金が一千三十万圓餘、契約金ノ總高が一億三千七百六十三万餘圓ト云フヤウニナリマシテ、既ニ抽籤入札ニ依テ給付ヲ終リマシタ高ガ、三千六百七十九万餘圓ニ達シテ居ルヤウナ狀況デアルノアリマス、然ルニ是等營業者ノ多數ハ其資力ノ乏シイモノデアリマシテ、基礎甚ダ薄弱、經營モ亦眞面曰ヲ缺イテ居ルコトノ結果、其經濟上社會上ノ弊害が延々甚シキ爲メニ、細民ノ損害ヲ受クルモノ、少ナクナインミナラズ、延テ國民財蓄心ノ發達ヲモ害セントスルヤウナ狀勢デアリマスが故ニ、今日ノ儘ニ放棄シテ置キマスコトハ、宜シクナイト云フコトニ相成ツタノアリマス、而モ無盡ノ營業ナルモノハ、我國ノ多年ノ習俗デアル所ノ無盡講、賴母子講ナルモノヲ巧ミニ營業化シタモノデアリマスカラ、金融ノ方便トシテハ必ズモ不良ノ制度ト云フ譯ニハ參リマセヌ、ソレ故ニ其長ヲ採リ弊ヲ矯メ、相當ノ監督ヲ加ヘマシタコトニ於テハ、小商工業者ノ金融機關トシテ相當ノ效果ヲ擧ゲルコトが出來ルデアラウト思ヒマス、因テ茲ニ無盡營業ニ關スル根本ノ法規ヲ定メテ、經營ノ基礎ヲ確實ニスルト同時ニ、掛金者ノ權利ヲ保障シ、併セテ監督ノ周密ヲ期セントスル次第アリマス、是ガ茲ニ本法律案ヲ提出致シテ御審議ヲ願ヒマス所以デアリマス、故ニ御調査ノ上御協賛ヲ御與ヘニナランコトヲ希望致シマス

○福田又一君 議長

○議長(島田三郎君) 高木益太郎君ノ通告ガアリマス

○高木益太郎君 此次ノ日程ト一緒ニヤリマス

○議長(島田三郎君) 福田又一君

○福田又一君 簡單アリマスカラ、此席カラ御許ヲ願ヒマス、唯今大藏大臣ノ説明ヲ伺ヒマシタ如ク、無盡業者ノ數ハ誠ニ澤山ノ數ニナツテ居ルノアリマスガ、是マテハ殆ド何等ノ拘束ヲ加ヘナシ、自由勝手ニヤラセテ置キマシタ、此會社若クハ個人ノ經營ニ屬スル無盡業ニ對シテ此法律ニ依リマスト、營業區域マテモ限定サレテ居ルノアリマス、ソレカラシテ收支計算ノ閲覽ヲモ許スト云フコトニナツテ居リマシテ、隨分是ハ嚴重ノ上ニ嚴重ナル規定デゴザイマスガ、是マテハ何等ノ拘束ナク自由ニ放任ヲシテ居ツタモノヲ、斯ノ如ク嚴重ノ下ニ移スト云フコトニ付テハ、此法律ノ實效ガ甚ダシキ支障ナクシテ施行セラルルノ當局者ハ御見込ニアリマセウカ、是ガ一ツアリマス、ソレカラシテ嚴重ニ施行サレルト云フト、數百ノ會社ハ直ニ解散若クハ破産等ノ境遇ニ至ラナケレバナラヌノアリ、俄ニ今日マテノ狀態テ經濟上社會上ニ影響ヲ及ボスト云フ當局者ハ言明ヲセラレテ居ルヤウナ譯アリマスカラ、此法律ヲ嚴重ニ施行致シマシタラ、ソレ以上ノ惡結果ガ茲ニ生ジハシナイカト私ハ考ヘルノアリマス、ソレデ此施行期日ト云フモノハ、勅令ヲ以テ之ヲ定メルト云フコトニナツテ居リマスカラ、何時勅令ニ日ヲ定メルカ知レマセニケレドモ、非常ナ寬大ナル所カラ非常ナル嚴格ノ法律ノ下ニ移スニ付テハ、其間ノ斟酌モシナケレバナラヌト考ヘルノアリマス、施行期日ノ如キハ當局者ハ豫メ豫定ノ日ガアルデアラウト思フ、隨分當業者ハ此法律ガ出ルト云フテ痛心ヲ致シテ居ル者ガ多イノデアリマスカラ、此場合ニソレヲ同シテ置キタイト思フノアリマス

○議長(島田三郎君) 若規大藏大臣

○大藏大臣(若規禮次郎君) 唯今ノ御質問ノ如キコトハ、充分注意ヲ拂ハナケレバナラヌコト思ヒマスガ、今マテハ、營業區域ヲ限定シテ居リマセナカツタケレドモ、元來ガ下層金融機關ノ一ノ種類アリマスカラ、左様ニ各地方ニ涉ツテ廣ク營業ヲシナケレバナラヌ程ノ性質ノモノデナイト見テ居リマスカラ、根本ノ原則トシテハ營業ノ區域ヲ限リマシタケレドモ、現在ノモノハ――既ニ契約シタモノハ何時マテモ宜イノアリマスノミナラズ、五年間ハ區域ノ外ニ涉ツテ居ルモノハ、ヤハリワレデ宜シイト云フ經過ノ法律ヲ置イテ施行スル考デアルノアリマス、又帳簿ノ閲覽ヲ求メルコトノ出來ルト云フモ一方カラ云フト煩ハシイヤウデアリマスガ、一方カラ云ヒマスト云フト、債權者ヲ保護スル上カラハドウ云フ狀況ニナツテ居ルノアラウカト云フコトヲ見ルコトが出來ヌヤウニナツテ居リマシタノハ保護ガ薄イヤウデアリマスカラ、ヤハリ帳簿ノ閲覽ヲ許シタ方ガ宜カラウト云フ考デアルノアリマス、施行ノ事柄ハ唯今略々内定シテ居ルノハ十一月一日位カラ施行シタイト思ヒマスケレドモ、併ナガラ是モ實際ノ狀況ニ應ジナケレバナリマセヌガ、御心配ニナル通り此法律ヲ出シテ直グ行フト云フヤウニシテ現在ノ人ノ準備ヲスル期間モナイト云フヤウニスルノハ宜シクナイト考ヘマスカラ、十一月ノ初頃カラシテ施行スルヤウニシタイト云フ考デアルノアリマス

(「八百長」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御質問ガナケレバ次ノ日程ニ移リマス

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○議長(島田三郎君) 荒川五郎君

## ○荒川五郎君 本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託サレンコトヲ望ミマス

(「賛成タク」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御異議ガアリマセヌカラ荒川君ノ發議ニ決シマス、日程第五、貯蓄銀行條例中改正法律案、第一讀會——若規大藏大臣

第五、貯蓄銀行條例中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第一讀會

## 貯蓄銀行條例中左ノ通改正ス

## 第一條第二項ヲ左ノ如ク改ム

公衆ノ爲左ノ事業ヲ營ム者ハ貯蓄銀行ノ業ヲ營ムモノト爲シ此條例ニ依

(ラシム)

一回五圓未満ノ金額ヲ預金トシテ受入ルルコト

二豫メ拂戻ノ期限ヲ定メ定期ニ又ハ一定ノ期間内ニ於テ數回ニ預金ヲ受入ルルコト

三期限ヲ定メテ一定金額ノ給付ヲ爲スコトヲ約シ定期ニ又ハ一定ノ期

間内ニ於テ數回ニ金錢ヲ受入ルルコト

第六條ノ二前三條ノ規定ハ第一條第二項ノ預金及受入金ニ付之ヲ準用ス

第七條 貯蓄銀行ニ於テ定款又ハ第一條ノ事業ノ種類及方法ヲ變更セムト

セントスルトキ亦同シ

大藏大臣ハ必要ト認ムルトキハ第一條ノ事業ノ種類及方法ヲ制限シ又ハ

其變更ヲ命スルコトヲ得

第七條ノ二大藏大臣ハ貯蓄銀行ノ業務又ハ財産ノ狀況ニ依リ第一條ノ預

金者又ハ給付金ノ債權者ノ利益ヲ保護スル爲必要ト認ムルトキハ其事業

ノ停止ヲ命シ其他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

其營業主ヲ千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罰則ハ營業主法人ナルトキハ其業務ヲ執行スル社員、取締役、監査

役其他法人ノ代表者、外國會社ノ代表者ニ之ヲ適用シ未成年者又ハ禁治

第九條ノ二左ノ場合ニ於テハ取締役、監査役ヲ十圓以上千圓以下ノ過料

ニ處ス

## 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

二第七條第二項又ハ第七條ノ二ノ規定ニ依リ大藏大臣ノ爲シタル命令

ニ違反シタルトキ

第五、貯蓄銀行ハ本法施行ノ日ヨリ一月内ニ地方長官ヲ經由シテ其ノ營ム第一

條ノ事業ノ種類及方法ヲ大藏大臣ニ届出シヘシ

附則

○高木益太郎君 第一二御尋ヲ致シタインデアリマス

吏員ガ銀行ニ臨シテ銀行ヲ検査スル方法デス、其件數、其日時、但シ延日數ヲ加ヘテ

親切ニ説明シテ貰ツテモ宜シイ、又検査ヲ爲シタルトコロノ府縣土地ノ區別、検査吏員

ノ頭數、第一ハ大隈内閣ニ於テ俄ニ此消極方針、財政策緊縮主義ヲ取ツタメ、又

内閣創立後暫クシテ日本銀行ヲシテ金利ノ引上ケラ爲サシメタ、從來ノ此政府ノ方針

ト全ク違ツタ政策ヲ執ツタメニ財界ニ變動ヲ生ジ、或ハ銀行ノ支拂停止ヲ豫期シタル

〔高木益太郎君登壇〕

○議長(島田三郎君) 高木益太郎君

○高木益太郎君 若規大藏大臣ニ質問致シタインデアリマス

○議長(島田三郎君) 成ルベク登壇ヲ乞ヒマス

○高木益太郎君 登壇スル程長クモアリマセヌ……

〔高木益太郎君登壇〕

コトガアルカナイカ、第三ハ北濱銀行、或ハ青山ノ旭銀行、其外一般ノ銀行ガ本來支拂ヲ爲スベキトキニ之ヲ爲サリシトコロノ金額及支拂停止ヲ被リタル被害者ノ頭數、又是ガ爲メニ生ジタル社會的ノ影響、次ニ右等ノ銀行ガ大藏省ノ取締ノ爲メニ、其債権ノ辨済ヲ受ケタル金額、但シ之ニ就テハ一部支拂ヲモ加ヘテ——全部又ハ一部ノ支拂ヲ大藏省ノ特ニ保護ノ爲メニ、取締リノ爲メニ、支拂停止ノ銀行カラ受ケタトコロノ金額、及ビ支拂ヲ受ケタル人ノ員數如何、第四ハ今日ノ無盡業法案及貯蓄銀行法案ハ、國民ノ實際生活及國家經濟ノ上ニ於テ至大ノ影響ガアル次第アルガ、併シ本案ハ主トシテ五圓未満ノ預金ニ關スルコトニアリマスケレモ、サウ云フ零碎ノ資金ヲ預ケタ細民ノ保護ハ勿論ノ事デアリマスガ、是ト同時ニ中流以上ノ一般ノ預金者ノ預金ヲ安全ニスルト云フ政策モ、亦執フナケレバナラスト云フコトハ無論デアル、若シ之ヲ執ラスト云フコトニアレバ、現ニ北濱銀行ノ如キハ中流以上ノ預金者ノ關係アル、青山ノ旭銀行亦然リ、是等ノモノ爲メニ慘害ヲ流シテ、經濟上其外非常ナ損害ヲ被ツタモノが多イノデアル、細民ノ保護ハ無論ナ話、中流階級以上ノ一般ノ預金者ノ保護政策ト云フモノハ大藏大臣ハ留意スルトコロガナインデアルカドウデアルカ、留意スルトコロガアルト云フナラバ、ドウ云フ政策ヲ此點ニ於テハ行ハントスルノデアルカ、第五ハ或ハ此第四ノ問ニ對シテ大藏大臣ハ本年度追加豫算中、從來取締ノ吏員ノ外ニ、更ニ大藏省ノ書記官二名ヲ加ヘテ取締ヲスルト云フ新政策ガ出テ居ルト云フコトヲ答辯セラレルカモ知レスケレドモ、本員等ノ見ル所ヲ以テ云フト、從來ノ大藏省ノ銀行取締ニ關スル吏員ノ仕事ト云フモノハ、非常識、無責任、或場合ニ於テハモウ大藏省カラ取締ガ行クト云フモ、見セ金ト云フモノヲ使シテ、甲ノ銀行ヘ大藏省ノ役人が來ルト云フト、乙ノ銀行カラ見セ金ト云フノデ金ヲ持テ行ク、更ニ丙ノ銀行ニ行クト其處ニ電話ヲ掛ケテ、其金が又丙ノ銀行ニ移ルト云フヤウナ工合デ、ソレモ唯検査ヲシタト云ヘバ御役が済ムト云フヤウナコトデ、何等實益ト云フモノハ無イノデアル、ソレアルカラ茲ニ又更ニ二人位ノ書記官ヲ加ヘタコロガ、先づ此結果ト云フモノハ、大抵豫想スルコトが出來ル、サウ云フヤウナコトニアキシテ、文明國ノ採用テ居ルヤウナ工合デ、會計検査士法案ト云フヤウナモノニ類スルコトガナイカドウカ、本議會ニ屢々國民ノ代表者ノ方面カラシテ、會計検査士法案ト云フヤウナモノヲ作ラナケレバナラスト云フコトヲ言ヒ、銀行家ノ團體モ亦之ヲ要求シテ居ルノデアル、何が故ニ此貯蓄銀行ト無盡業ニ付テハ、後レ馳ナガラスカル提案ヲシテ置キナガラ、會計検査士法案ト云フヤウナ官民合同ノ組織ニ依ツテ——役人ハカリテアル、今日ハ官權萬能ノ時代ニアノデアルカラシテ、官僚ニアック若楓君が同志會ノ首領ニナル今日ノ時代アルカラ、何故ニ民間ノ人人力ヲ藉リテ銀行ノ取締ヲスル銀行ノ預金關係ヲ、安全ニ保護スル政策ニ留意シナインデアルカ、又留意ラブ弊害ガ往々アルノデゴザイマス、又ハ此銀行ノ検査吏員デハ何等ノ效ガ無イ、殆ド有名無實デアル、此預金者ノ團體、英吉利ノ如キ、亞米利加ノ如キハ預金者ノ團體カラシテ、吏員ヲ出シテ、銀行ヲ監督スル方法ヲ設ケテ居ル、何故大藏省ハ此預金者ノ團體カラシテ、吏員ヲ公選セシメテ、其吏員ニ依ツテ此銀行ヲ監督スル尤モ利害

關係ヲ有シテ居ル株主ナラバ、自分ノ株が多少下ルト云フ缺點がアルカラ、下ガルト苦痛ニナルガ、ケレドモ預金者ニナルト自分ノ大切ノ金ヲ預ケテアルカラ、預金者ノ團體カラ例ヘバ東京カラ何人、銀行ノ取引ヲスル者カラ何人、公選ニ依ツテ吏員ヲ出ス、全體ノ預金者ノ中カラ預金者保護機關ヲ設ケテヤルト云ノハ、文明國ノ何レノ國モヤツテ居ルコトデアル、然ルニ日本ニ於テ無イト云フノハドウ云フ點デアル、此點ニ付テ若楓君ハドウ云フ方策ヲ執ラントスルノデアルカ、斯ウ云フコトヲ御尋シテ置キタイ、第七ハ亞米利加ノ如ク銀行ノ資產公開主義ヲ採ルカ採ラヌカ、是ハ一箇人ノモノデナイ、公益ニ關係スルモノデアルカラ、資產公開主義ヲ御採リニナルカ、採ルト云フナラバドウ云フ工合ニシテ政策ヲ此點ニ於テ行ハントスルノデアルカ、ソレカラ第八トシテ今日ノ銀行ノ弊害ハ田舎テ極ク下ラナイ銀行ヲ僅ナ金ヲ出シテ買ツテ來テ、名モ知レナイトコロノ銀行ヲ買ツテ來テ、サウシテ都ニ移シテ大藏省ノ方ハヘ立派ナ銀行ニ類似スル名前ニ變ヘシマツテ、サウシテ無資產ノ華族ヲ頭取ニナシタリ、又此周リニ詐偽師が集ツテ、サウシテ預金ヲ吸收スル策ヲ執ル、又東京大阪ニ於ケルトコロノ破産銀行ハ、山間僻地ニ代理店ヲ設ケテ、出來ルダケ預金ヲ吸收シテ、サウシテ支拂ヲ受ケルトキニハ、俄ニ閉鎖シテ逐電スルト云フヤウナ者ガ多イノデアルガ、斯ウ云フヤウナ實際上ノ問題ニ付テハ、大藏省ハ今迄取締ヲシテ居ルノデアルカ、實ニ吾ミハ非常ニ是等ノ點ニ付テ大藏省ノ取締ノ無責任ナルコトヲ感ジテ居ル、實例ト云フモノハ澤山アル、是等ノ爲メニ預金者ハドノ位損害ヲ被ツテ居ルカ知レスノデアルガ、サウ云フ點ニ付テモ一ツ詳細ニ辯明シテ貴ヒタイ、ソレカラ第九ノ御尋ハ、此銀行ノ支拂停止又ハ破産ニ遭ツタトキニハ、重役ニ無責任ナル者ガ多イ、今度ノ案ヲ見ルト、其責任ヲ過重シ、其責任ヲ確實ニスル規定ト云フモノハ一モナイ、假ニ辨償スルトシテモ辨償スルニハ一年モ二年モ三年モ挂クテシマフコトガ多イ、小學校教員ヤ何カ、七圓カ八圓取ル月給ヲ銀行ニ預ケテ、サウシテ取りニ行ツタトキニ銀行ガ破産ニナッテ、是ガ支拂停止ニナッタ、其重役ニ請求スルト何ダ彼ダト云ツテ二年モ四年モ挂ツタ日ニハ堪ツタモノデナイ、其點ニ付テ迅速ニ確實ニ取レル方法ト云フモノハ、今度ノ案ニ於テ無イ、然ラバ此案ハ時勢ノ要求ニ應ジタ案ニアルカ否カト云フコトモ、國民自ラ定論ガアラウト思フガ、ソレヲ敏速ニ確實ニ支拂ヲセシムルトコロノ方法ト云フモノハ、ドウ云フ考ヲ有シテ居ラレルカ、一ツ御尋シテ置キタ、ソレカラ又銀行重役ノ賄賂ト云フコトヲ罰スル規定ガナイ、下ラメ小サナ雇吏員モ、苟モ斯ウ云フ行爲ガアツタナラバ罰スル、銀行ハ公益ノ機關アル、一番最セ酷イハ銀行ノ貸付ニ關スル吏員ト云ノモ、殊ニ農工銀行ニ就テハイロ——非難ヲ聞イテ居ル、或物ヲ渡セバ貸付ヲスル、渡サナケレバ貸付ヲセヌト云フ風説ヲ聞イテ居ル、故ニ銀行重役ノ賄賂モ、ヤハリ官史公吏ト同様ニ之ヲ罰スル規定ヲ設ケル必要ヲ感ジナイカ、ソレカラ今度ノ案ヲ見ルト云ノモ、僅カ十圓以上千圓以下ノ科料ト云フコトニナシテ居ル、此千圓ト云フコトハ今日ノ富ノ程度ニ於テ少ナインデアル、貯蓄銀行トカ何トカ言フノデアルカラ、惡いコトヲシャウト思ツヤレバ——勿論ドウカスレハ刑法上ノ犯罪ニナルガ、必ズ刑法ニ觸レヌヤウニシテヤルノデアル、千圓ノ科料ト云フコトニナシテ居ル、餘り此銀行ノ場合ニ於テハ安過ギハシナイカト云フ感ジヲ有シテ居ル、何ニモナラヌ、千圓ヲ拂フ積リテ最初カラヤルノデアル、是等ノ點ニ於テ若楓大藏大臣ハ此稅ヲ榷ルト云フコトニ付テハ、世界第

一等ノ財政學者アルガ、國民ノ利益ヲ保護スルト云フ點ニ付テハ如何ナル苦心ヲサレテ居ルカ、詳細ナル御辯明ヲ求メルノアリマス(笑聲起ル)

○議長(島田三郎君) 若槻大藏大臣

(大藏大臣若槻禮次郎君登壇)

○大藏大臣(若槻禮次郎君) 前内閣ト抑セラレマシタガ、現内閣ト仰セニナツタノアリマスカ

○高木益太郎君 現内閣アス

○大藏大臣(若槻禮次郎君) 銀行ヲ検査シタ數、検査ノ吏員ノ數、其検査ノ日數等ノ御尋ニアリマスガ、是ハ唯今其調査書ヲ持テ居リマセヌカラ、何レ委員會ノ際ニモ御話ヲ申スコトが出來ルト思ヒマス、政府ノ經濟政策ノタメニ銀行ノ破綻ヲ生シテモアルコトヲ認ムルヤ否ヤ是ハ認メマセメ、ソレカラ北濱銀行、旭銀行ニ於ケル預金者ノ困難ヲ感シタ場合ニ於テ、政府ノ努力ドレゲケ預金者ガ助カツカト云フコトヲ言明シロト云フコトニアリマスガ、左様ナ區別ハ出來ヌノアリマス、政府ガ監督ヲシテ居ルタメニ、是ダケノ預金ガ助カツタ、其他ノタメニ是ダケ預金ガ助カツタト云フ、左様ナ區別ヲシテ申上グルコトハ出來ヌノアリマス、此項綱法ハ細民ノ金融機關ダケデ、中產以上ノ者が預ケテ居ル普通銀行ノ取扱ニ及ブモノノデナインガドウ云フ譯カ、唯今提出シテアルノハ多クハ細民ノ預金等ノ分ニアリマスガ、細民ノミノ金融機關ニ止マル譯デハアリマセヌガ、普通銀行法ノ改正案が出テ居リマセヌカラ、ソレ等ニ付テモ法規ニ缺點アルノニ、ソレ等ノ完備ニ努メナインガドウ云フコトニアリカ、其點ニ就テハ普通銀行ニ關スル法規モ私共十分完備シテ居ルト思ヒマセヌ、是ハ何レ追ミト研究ヲ重ねタ上ニ、改正案ヲ提出スル考デアリマス、會計監査士ト云フヤウナモノカ出來ルヤウニナッテ、其監査ノ力ニ依テ銀行會社等ノ經營ノ方法が好クナルヤウニシタラ宜カラウト思フガ、ソレニ付テ何等提案ヲシナイハドウ云フ譯カ是ハ會社監査士ト言ヒマスカ、サウ云フヤウナ名前ヲ附ケベキモノガアリマシテ、會社ヤ銀行ノ状態ヲ依頼ニ依ッテ、法規ノ力ニ依テハアリマセヌガ、銀行會社ノ依頼ニ依テ調べテ、此通りアルト云フコトヲ銀行會社自身ガ世ノ中ニ公ニシテ、斯様ナ機關ノ監査ヲ經テ、自分ノ銀行會社ニハ何等間違テ居ルコトガナイト云フコトヲ明カニシテ、其信用ノ確かなコトガアルノアリマス、是マテノ議會トハ違テ半數以上コトハ、是ハ高木君ト同シク私共希望スルノアリマス(高木益太郎君)然ラ提案ベシテ預金者ノ團體ヲ作ツテ會社銀行ノ財政狀態、經營狀態ヲ調べルコトハ宜イ方面モシテアリマセウガ、又ソレカラ弊害ガアリマスカラ、是ハ餘程攻究ベキ問題デアラウテ居ナクテモ、自ラ其狀態ヲ成ベク世間ニ明カニスルヤウニナスコトヲ、私共ハ望ムノアリマスガ、法律オル程度マテ強制スルコトノ利害如何ト云フコトニアレバ、今少シ研究致シマセスト云フ、直ニ御答ハ出來ヌノアリマス、地方ノ小銀行ヲ東京大阪ノ

ヤウナ處ニ移シテ來テ、サウシテ營業ヲスルト云フコトノ弊害、是ハ私共大ニ認メテ居ルノアリマス、併ナガラ前ニ申上ケマシタ通り、現行ノ銀行條例ナルモノガ規定ガ完備シテ居ルトハ申シマセヌガ、弊害ガアルト云ウテ直ニ之ヲ禁ズル譯ニハ參リマセヌカラ、唯今申シマシタ通り、段々普通銀行ノ取締ノ規則、其他普通銀行ニ關スル規定ノ缺ケテ居ル弊害ニ付テモ、注意ヲ大ニ拂ツテ居リマスカラ、法規ノ改正ヲ要スルコトガアルナラバ、其時ニ至ツテ相當ノ規定ヲ設ケルコトニ致シマス、銀行ノ清算ノ場合ニ預金者ニ預金ヲ成ベク早ク返スヤウナコトニ付テ、政府ハ何等カ計畫ヲシテ居ルカト云フコトニアリマスガ、銀行ガ支拂停止ヲ致シマシタ場合ニ、其預金ノ支拂ト云フモノハ成ベク早ク致サセタイノアリマスケレドモ、成ベク早ク片附ケルガタメニ、助カルベキ銀行ガ助カラヌシテ、ソレガタメニ預金者モ亦其結果ヲ受ケテ、預金者ノ結局損失ニナルト云フコトモ亦宜クナインアリマスカラ、一概ニ預金ノ支拂ヲ早クシナケレバナラムト云フ譯ニモ參リ兼ネルト思フノアリマス、罰金ノ高ガ少ナイヤウデアル、千圓位デハ到底イケヌヤウデアル、ジタ次第アリマス、銀行ノ當事者ガ場合ニ依テ貸付ヲスルトキニ、何等カノ物ヲ取ル是ハ或ハ制裁ノ程度ニ就テハイロく御議論ガアリマセウガ、他ノ法規、例ヘバ信託コトガアツハナラヌカラ、ソレニ對スル制裁ノ法規ヲ設ケタラドウカ、是ハ私ハ直チニ此處デ其事ノ可否ヲ明言スルダケニ研究ヲ致シテ居リマセヌ、併ナガラ民間ノ事ニ餘リ干渉スルコトノ利害關係ト云フモノハ、是モ亦十分ニ調査シタ上ナイト申上兼ネマス

○議長(島田三郎君) 高木益太郎君

○高木益太郎君 本員ノ答辯ニ就テ委員會ニ於テ答ヘルト云フヤウナ言葉ガアリマシタガ、本員ハ委員ニハナシテ居ラス、又今日ノ委員會ノ筆記ト云フモノハ、本會ノ場合ニ間ニ合フコトガアリ間ニ合ヘヌコトガアルノアリマス、是マテノ議會トハ違テ半數以上議員ガ代ツテ居ル、議員ハ憲法政治ノ實ヲ擧げヤウト思ツテ勉強シテ居ルノアリマス、委員會々々々託シテ説明ヲ避ケルコトハ甚ダ怪カラヌト思ヒマス、少ナクトモ私ハアル、或ハ無盡講ニ關係ノアル積金ノ高ハ何億アルトカ云フヤウナ御話ニアリマス、自分ガ直接監督ノ責任アル銀行ノ支拂停止、又ハ事故休業ノタメニ、ドノ位支拂フベキモノヲ支拂ハナカツカ――大隈内閣ノ下ニ於テ支拂ハレナカツカ、及其人數ハドノ位アルカ位ハ、大藏大臣トシテ答辯が出來サウニ思フ、是ニ付テノ答辯ヲ求メマス

(大藏大臣若槻禮次郎君登壇)

○大藏大臣(若槻禮次郎君) 御尋ネノ中ニ第一ニ關スルコトヲ委員會デ申上ゲルト云ウタマニ、委員會ニ充分分ラスト云フコトニアリマスカラ、調ベタモノヲ議長ノ手許ニ出シマシテ、之ヲ速記録ニ印刷シテ貰ヒマシタラ、自然御分リニナルダラウト思ヒマス

○高木益太郎君 成ベク精シク願ヒマス

○議長(島田三郎君) 御異議ガゴザイマセヌケレバ次ノ日程ニ移リマス、日程第六、審查委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

研究致シマセスト云フ、直ニ御答ハ出來ヌノアリマス、

地方ノ小銀行ヲ東京大阪ノ



(遞信大臣武富時敏君登壇)

○遞信大臣(武富時敏君) 明治三十三年法律第五十號中改正法律案ヲ紹介スルタメニ一言致シマス、御承知ノ通り會計法ニ於キマシテハ、官吏ニアラザル者ガ現金ノ出納ニ限リテハ官吏ニアラザル從事員ニ分掌ヲサセルト云フコトヲ許シテアル、然ルニ御承

取扱フ掌ルト云フコトハ認メテ居リマセス、唯郵便、電信、爲替、郵便貯金三屬スル現金ノ知ノ通りニ年金恩給ノ支拂事務、又近クハ國庫金受拂ヒノ事務ヲ通信官署ニ於テ取

扱フコト、ナリマシテ、此事務ヲ官吏ニアラザル者ニ分掌ヲ許サヌト云フコトニナリマシテハ、到底實際事が運ビ兼ネマスノデ、從ツテ是マニ事務員ニ分掌ヲ許シテアル、然ルニ御承張致シマシテ、此度ノ改正案ヲ提出シタノデアリマス、御審議ノ上御協賛アランコトヲ希望致シマス

○議長(島田三郎君) 御發議ガゴザイマセヌケレド次ノ日程ニ移リマス、日程第十六、審查委員ノ選舉

○第十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○荒川五郎君 本案ハ九名ノ委員ヲ議長ニ於テ指名セラレントコトヲ望ミマス  
(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト考ヘマスカラ、荒川君ノ動議ニ決シマス——日程第十七、教育基金法案、第一讀會——若槻大藏大臣

第十七 教育基金法案(政府提出)

### 教育基金法案

第一條 教育基金ヲ置キ其ノ額ハ千八十萬圓トス

前項ノ基金ハ大正四年度末ノ教育基金特別會計所屬現金及漸次一般會計ヨリ繰入スル金額ヲ以テ之ニ充ツ

第二條 教育基金ハ之ヲ費消スルコトヲ得ス

第三條 教育基金ハ大藏省預金ニ寄託シ其ノ利子ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ普通教育費ニ使用ス

### 附 則

本法ハ大正五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
(大藏大臣若槻禮次郎君登壇)

○大藏大臣(若槻禮次郎君) 此法案ハ特別會計整理ノ趣意ヲ以テ教育基金ニ關スル現在ノ特別會計制度ヲ廢止致シマスト同時ニ、法律ヲ以テ新ニ教育基金ヲ設置致シテ、其利子ハ毎年度之ヲ一般會計ニ繰入レ、一般會計ニ於テ普通教育費ニ之ヲ使用シヤウト云フ考デアルノデアリマス、其金額ハ大體ニ於テ唯今ノ教育基金ノ現在額ニ依リマシテ、之ヲ千八十八萬圓ト定メテ、現ニ同基金ニ屬シテ居ル現金ヲ以テ直チニ之ニ充當致シマスト同時ニ、其殘額ハ漸次一般會計カラ之ヲ繰入レルコトニ致サント致シマスノデアリマス、要スルニ特別會計ニシテ置イテ、繁雜ナル取扱ヲスル代リニ、基金ニシテ

置カフト云フ趣意ニ外ナラヌノデアリマス、御協賛アランコトヲ希望致シマス  
○議長(島田三郎君) 御發議ガゴザイマセヌケレバ次ノ日程ニ移リマス、日程第十八、審查委員ノ選舉

○荒川五郎君 本案ハ日程第十二、第十四ト同一委員ニ付託サレントコトヲ望ミマス  
(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト考ヘマスカラ荒川君ノ說ニ決シマス、次ハ日程第十九、衆議院議員選舉法中改正法律案、第一讀會、森田小六郎君

第十九 (衆議院議員選舉法中改正法律案(森田小六郎君提出)) 第一讀會

○第十九 (衆議院議員選舉法中改正法律案(森田小六郎君提出)) 第一讀會

第十一條第四號ノ規定ハ選舉事務代理者及選舉運動者ニ之ヲ適用ス

第二十七條ノ八 選舉運動者ヲ解任シ又ハ新ニ之ヲ選任シタルトキハ議員

候補者又ハ選舉事務代理者ハ直ニ所轄警察署ニ之ヲ届出ツヘシ

第四章ヲ第五章ニ改メ第五章以下順次續下ク

第十一章罰則ノ次ニ左ノ六條ヲ加フ

第八十五條ノ二 議員候補者選舉事務所ヲ設置セシテ選舉運動ヲ爲シ又

ハ第二十七條ノ二第二項ノ期限ニ先チ選舉事務所ヲ設置シ及選舉運動ヲ

開始シタルトキハ選舉長ハ直ニ之ニ對シテ速ニ選舉事務所ヲ設置シ又ハ

上記ノ期限ノ到來スル迄選舉事務所ヲ閉鎖シ及選舉運動ヲ中止スヘキコ

トヲ戒告スヘシ

議員候補者前項ノ戒告ヲ拒ミ又ハ其ノ戒告ヲ受クルモ仍之ニ違反シタル

トキハ其ノ當選ヲ無効トス

第八十五條ノ三 議員候補者又ハ選舉事務代理者第二十七條ノ五及第二十

七條ノ六ノ届出ヲ怠リ若ハ第二十七條ノ三及第二十七條ノ六ノ制限ヲ超

過シ其ノ他第二十七條ノ七ニ記載シタル者ヲ選舉運動者トシテ使用シタルトキハ選舉長ハ直ニ之ニ對シテ速ニ上記ノ届出ヲ爲シ若ハ上記ノ制限

ニ從テ選舉事務所及選舉運動者ノ數ヲ減少シ其ノ他上記ノ選舉運動者ヲ

解任スヘキコトヲ戒告スヘシ

議員候補者又ハ選舉運動者前項ノ戒告ヲ拒ミ又ハ其ノ戒告ヲ受クルモ仍

之ニ違反シタルトキハ其ノ當選ヲ無効トス

第八十五條ノ四 選舉事務代理者選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレタ

ルトキハ議員候補者其ノ情ヲ知ラスト雖其ノ當選ヲ無効トス

第八十五條ノ五 議員候補者選舉事務代理者及選舉運動者ハ公開ノ演説

又ハ文書ニ依ルノ外選舉人ヲ勸誘スルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ違反スルトキハ議員候補者ハ其ノ當選ヲ無効トシ其ノ他ノ

者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十五條ノ六 議員候補者以外ノ者本人ノ承諾ヲ得シテ選舉事務所ヲ

設置シ其ノ他選舉運動者ヲ使用シテ選舉運動ヲ爲シタルトキハ一年以下

ノ禁錮ニ處シ又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十七條ノ六及第二十七條ノ七ニ規定シタル以外ノ者選舉運動ニ從事

シタルトキ亦同シ

第八十五條ノ七 當選ヲ妨クルノ目的ヲ以テ其ノ選舉運動者ト稱シ本法ニ

記載シタル罪ヲ犯シタル者ハ一年以下ノ禁錮ニ處シ又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十七條中「一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ニ依リ損害ヲ受ケタル者ハ加害者ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケス

第八十六條中「十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ二百圓以下ノ罰金ニ改ム

第八十七條中「一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

罰金ヲ二年以下ノ禁錮ニ處シ又ハ五百圓以下ノ罰金ニ改ム

第八十八條第一項中「二月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上百圓以下ノ罰金ヲ二年以下ノ禁錮ニ處シ又ハ五百圓以下ノ罰金ニ改ム

第九十一條第一項中「四月以上四年以下ノ輕禁錮ヲ四年以下ノ禁錮ニ改ム

第九十二條第一項中「六年以上三年以下ノ輕禁錮ヲ三年以下ノ禁錮ニ改ム

第九十三條第一項中「二年以下ノ輕禁錮又ハ五圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ二年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ改ム

第九十五条中「十五日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ五百圓以上百圓以下ノ罰金ヲ二年以下ノ禁錮ニ處シ又ハ五百圓以下ノ罰金ニ改ム

第九十七条中「六月以下ノ輕禁錮ニ處シ五十五圓以下ノ罰金ヲ附加ス」ヲ「一年以下ノ禁錮ニ處シ又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處スニ改ム

第九十九條中「五月以上五十圓以下ノ罰金ヲ五百圓以下ノ罰金ニ改ム

第一百二條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ規定ニ依リ衆議院議員ノ選舉人及被選舉人タルコトヲ禁セラレタ

ル者ハ併テ前項ノ期間府縣會議員及郡市町村會議員ノ選舉人及被選舉人タルコトヲ得ス

（森田小六郎君登壇）

（拍手起立）

○森田小六郎君 本員ハ此三賢明ナル諸君ノ前ニ於テ、衆議院議員選舉法中改正

法律案提出ノ理由ヲ説明致シマス、此問題ハ政黨派ニ關係ノナイモノニアリマスカ

テ、暫クノ間冷靜ニ御聽取願ヒ、最後ニ公平ナル御批判ヲ願ヒタイノアリマス、選

舉界ノ腐敗シテ居ル有様ニ付テハ申上ゲルマテモアリマセス、此腐敗ノ結果少數眞面

目ナル選舉人ハ、多數不正腐敗ノ選舉人ニ壓倒サレマシテ、適當ナル人ヲ議會ニ送ル

機會ヲ失ヒ、又眞面目ニ國事ニ奔走シテ見ヤウト云フ人格識見竝ヒ高キ人デモ、非常

ナル犠牲ヲ仕拂ハナケレバ議會ニ選出シ得ラレナイト云フ有様アリマス、是ガ故ニ政府

政黨ハ申スニ及バズ、苟モ政界ノ先輩ヲ以テ任ズル人々ハ、此選舉界ノ腐敗ヲ改メ

ル方法ヲ研究スルニ苦心ヲシテ居ル、現ニ吾ノ最モ尊敬スル所ノ政友會ノ總裁原君ハ、  
第二次西園寺内閣ノ當時ニ於テ、大選舉區ヲ小選舉區ニ更メルト云フ案ヲ提出セラ  
レマシタノモ、其目的ハ選舉界ノ腐敗ヲ改ムニアルノアリマス、又國民黨ニ居ラル  
トコロノ友人諸君カ、選舉權擴張案ヲ提ゲテ屢々此議場ニ論戰セラレタ目的ハ、同ジク  
選舉界ノ腐敗ヲ改ムニアルノアリマス、即チ選舉界ノ腐敗ト病膏肓ニ入シテ、此選舉  
權ノ擴張若クハ選舉區割變更位ア治療スルコトハ出來ナイノアリマス、非常ナル英斷  
ヲ以テ一大根本的ノ療治ラシナケレバ改マラナイモノアリマスルカラ、現ニ此處ニ居ラル  
所ノ吾ノ最モ敬意ヲ表スルトコロノ林田君ハ、前後十年ノ間如何ニセバ選舉界ノ  
腐敗ヲ改ムコトが出來ルカト云フコトニ付テ苦心ヲセラレマシタ結果、確カ明治四十一  
年第二十四議會ノ當時ト記憶致シテ居リマスガ、發案ヲセラレテ政友會ノ福井三郎  
君竝ニ高橋光威君、兩名ノ名ヲ以テ選舉取締法案ヲ提出サレタノアリマス、不幸ニ  
シテ是ハ通過シナガタ若シ林田君が心血ヲ灑イテ提出セラレタルトコロノ此選舉取締  
法案が、幸ニ兩院ヲ通過シテ法律トナシテ居リマシタナラバ、明治四十一年五月ノ總選  
舉、明治四十五年ノ五月ノ總選舉、竝ニ今回ノ總選舉ヲ都合三回ノ試驗ヲ經テ選  
舉界ハ非常ニ改マルコトが出來タノアリマスが、不幸ニシテ是レガ  
成立タナカツタ、成立タナカツタ、成立タナカツタノデ今日ノ選舉界ハ依然トシテ不備寛大ニシテ、極メテ  
ダラシノナイトコロノ現行選舉法ニ支配サレテ居ルノアリマス、諸君、今回ノ總選舉ニ  
於テ現内閣ハ既ニ政綱ノ一トシテ選舉界ノ腐敗ヲ改メル選舉法ヲ厲行スルト云フコト  
ニ努力セラレタノハ相違アリマセヌケレドモ、選舉ノ結果ヲ以テ見レバ、ドウデアルカト  
云ヘバ、選舉運動費ハ依然トシテ高ク、前回ト同等若クハソレ以上ニナツテ居ル（拍手  
起り「ヒヤー」ト呼フ者アリ）後段ニ至シテ喝采ヲ願ヒマス、マダ是ハ序ノ口アリマス、  
（笑聲起ル）此有様ヲ以テ進シテ參リマシタナラバ、次期ノ總選舉ニハ選舉運動費ハ一  
層高價ニナルト云フコトハ容易ニ推察セラレルノアリ、而モ警察ノ取締ハアレ程嚴重ア  
リマシタケレドモ、如何セン根本トナルベキ選舉法が此ノ如キ不備寛大ナルモノア  
ルカ故ニ、選舉ニ關スル違反ハ隨所ニ熾ニ行ハレテ居ル、諸君、現行選舉法ハ百何條  
ニ涉リ、其規定ハ極メテ詳細ヲ極メテ居リマスルケレドモ、其刑罰ハ寛大ニ過ギ其適用  
モ免角粗漏ニ流レテ居ル、偶々選舉違反ガアリマシテモ候補者若クハ選舉運動者ハ罰  
スルケレドモ、運動者ニ對スル偶々檢舉ハアリマシテモ、處罰ハ容易ニシナイノアリマ  
ス、其結果選舉人ヲシテ倍々選舉違反ヲ逞シウスルト云フ傾キヲ助長シテ行クモノア  
ガ故ニ、是非トモ一大英斷ヲ以テ選舉法ヲ改ム必要ガアルノアリマス、此處ニ私が  
提出シマシタ改正案ニ要點ハ六ツアリマス、詳シイコトハ何レ委員會ニ於テ御説明申上  
云フ言葉が使テアリマス、參謀長ノ違反ニ付テ、議員候補者ニ連帶ノ責ヲ負ハセルト  
云フコト、第五ハ選舉人ヲ直接ニ勸誘スルコトヲ禁止スルコト、第六ハ違反ニ對スル處  
罰ヲ嚴重ニスルト云フコトアリマス、此第一ノ被選舉資格ノ制限ニ付テハ、現行法ハ  
選舉違反ノ結果或ル年限間被選舉權ヲ停止セラレタモノト、竝ニ公權ヲ有セザルモノ  
アリマス、私ハ其制限ヲ嚴重ニシ、尙一層廣クシ、刑法ニアル所ノ破廉恥罪、瀆職

法ニ觸レテ刑餘ノ人トナレル人ハ申スニ及バ、廣ク此種ノ人々ニ對シテ被選權ヲ褫奪  
スルト云フ案ニアリマス、諸君、道途傳フル所ニ依レバ、院外ニ於テハ盛ニ瀆職議員ヲ  
排斥スル聲が起シテ居ル、現ニ本員ノ手許ヘ瀆職議員ヲ排斥スル主意書が迴シテ居リ  
マス、恐クバ諸君ノ御手許ニモ送付セラレタコト思シテ居リマス、此瀆職議員ヲ排斥ス  
ル動機ノ何レニアルヤハ私ハ存ジマセヌガ、其目的ガ若シ議院ノ神聖ヲ維持シ尊嚴ヲ保  
チ、議員各自ノ品性ヲ高メルト云フコトニアリマスレバ、如何ニモ其目的ハ善美ナモノア  
ル、若シ不幸ニシテ吾ノ同職者ノ間ニ、瀆職法ニ觸レテ刑餘ノ人トナツタ人ガアツタ  
ナラバ、宜ク本員ハ（ソレが何ノ關係ガアルカト呼フ者アリ）是ガ大ニ關係シテ居ル、  
其人ノ良心ノ發動ヲ促シ、潔ク處決シテ、此議院ノ神聖ヲ保チ、院内ノ空氣ヲ清  
潔ニセラレントラ望ムノアリマス（拍手起ル「乃公自カラ決スベシ」ト呼フ者アリ）特ニ  
本年ハ京都ニ於テ御大典ノ式ガアリマス、吾ニ衆議院議員ハ此御大典ニ參列スル光榮  
ヲ有スルコトニ内定シテ居ルト承シテ居ル、議員アルガ故ニ此榮典ニ列スルコトが出來  
ルトスレバ、曾ニ議員トシテ瀆職法ニ觸レテ失格シタ者ガ、偶々本年ノ總選舉ニ當選シ  
議員トシテ此榮典ニ參列スルト云フコトハ、陛下ニ對シ奉リ甚ダ恐懼ニ耐ヘザルコトデ  
アルト思フノアリマス、ケレドモ退テ考ヘレバ、其等ノ人ニハ現行法ニ依テ適法ニ選出  
セレタ人ニアリマス、其地方ニ於テ縱令誤ツテ選舉セラレタニモシロ、地方ヲ代表スル人  
士トシテ選出セラレテ來タ以上ハ、吾ニハ飽迄モ選舉人ノ意志ヲ尊重シ權利ヲ尊重シ  
ナケレバナラヌ、之ニ對シテ排斥ヲスルト云フ理由ハ法理上毛頭認メナインアリマス、  
サレタ人ニアリマス、其地方ニ於テ申上グマス、又參謀長ノ選舉違反ニ對シテ候補者ニ連帶  
現行法不備ノ結果アル、現在ハ知ラズ將來ニ於テハ此ノ如キモノヲ選出スルコトガナ  
イヤウニ、過ダテ選出スレバ其當選ハ無効トスルト云フ案ヲ茲ニ立テタノアリマス、第二  
ノ選舉運動期間ノ制限、第三ノ選舉運動者竝ニ事務所ノ制限、是ハ孰レモ異論ガア  
リマセウカラ、委員會ニ於テ申上グマス、又參謀長ノ選舉違反ニ對シテ候補者ニ連帶  
責任ヲ負ハスルト云フ事モ、何レ御異論ガアリマセウカ、是モ委員會ニ於テ説明致シマ  
ス、第五ノ直接勸誘ノ禁止（宜加減ニシテ置ケ）ト呼フ者アリ）現行法ニ於テハ戸別  
訪問ヲ禁止シテ居リマセヌカラ、自由自在ニ有權者ノ各戸ヲ訪問シテ、直接ニ勸誘スル  
コトが出來ルノアリマス、之ヲ自由ニ放任シテ置ケト云フ、種々ノ情弊が生ズルノミナ  
ラズ、甚シキニ至シテ婦人——候補者ノ母親、妻（拍手起ル）若クハ娘等ヲ使ツテ（宜  
イデヤナイカ）ト呼フ者アリ）立憲的政治家トシテ甚ダ公明ヲ缺ク運動ヲ生ズル者ガ自然  
ニ起ルノアリマス（拍手起ル）人情ノ弱點ヲ衝キ、其人ノ感情ヲ動カシテ、一票ヲ取ル  
ト云フコトヲ禁止スルニアラザレバ、選舉ノ神聖ト公平ハ保チ得ラレナイモノアル、故ニ  
私ハ本案ニ於テハ絶対ニ戸別訪問ヲ禁止スルト云フ案ヲ立ツタノアリマス（「ソンナ事ハ  
何處ニ在ル」ト呼フ者アリ）直接勸誘ヲ禁止スレバ、自然戸別訪問ヲ禁止スルコトニナル  
デハナイカ、以上要點ニアリマス、何レ委シキ事ハ委員會ニ於テ説明致シマスレバ、ドウ  
ゾ願クバ時代ノ要求ニ從ツテ本案ニ御賛成アランコト願ヒマス

○議長（島田三郎君） 廣岡宇一郎君

（廣岡宇一郎君登壇）

○廣岡宇一郎君 私ハ此提出者ニ對シマシテ、簡單ニ質問ヲ致シタイト思フ、提出

者へ此衆議院議員選舉法改正ノ提出ノ理由ニ付キマシテ、現今ニ於ケル我選舉界ノ腐敗ノ事實ニ付テ、深ク憤慨致サレテ居ルノアル、此點ハ私共モ同感デアルガ、唯如何ニシテ此腐敗ヲ救濟スベキカ、今日提出セラレタトコロノ改正案ガ、果シテ目的ヲ達シ得ラルカト云フ然ル所以ノ理由ニ至シテハ甚ダ、瓦シキモノアルヲ感ズルノアリマス、ソレテ私ハ四五ノ點アリマスガ、箇條書ニ付テ、申シタイ、先ツ第一ニ此刑法第二編第一章及第八章ニ記載シタル以外ノ犯罪ニ依テ、刑ニ處セラレタルモノト云フ被選資格ノ制限アル、此點ニ付テハ先刻來非常ニ此瀆職議員云々ト云フコトニ付テ述べラレタガ、其他ノ事柄ニ付テ一言之ニ言及シタル事アルヲ聽カヌノアル、而モ本法ノ如ク廣く規定ヲ致シマスルト云フ、幾ド内亂騒擾ニ關スル以外ノ刑ニ處セラレタルモノハ、悉ク資格ヲ失フト云フコトニナリマスガ、私共知ル所ノ範圍ニ於テ、此ノ如キ立法ハ世界文明國未ダ曾ア見ザルトコロノモノアリマス、而モ今日ノ我日本ノ情勢ニ照シマシテ、此ノ如ク峻厳ナル制限ヲ加ヘナケレバナラスト云フ根本ノ理由ガ私共分ラヌノアリマス、提出者ガ此處テ言ハレル所ノ瀆職議員ト云フ者ガ惡イト云フが、是等モ各國ノ例ニ依リマシテ、私共刑ノ執行ヲ受ケクト云フコトニ付テ差支ナイト云フ考ヲ持テ居ルノアリマス、現ニ提出者ノ與黨タルトコロノ——同志會ノ與黨、中正會並ニ同志會ノ援護致シテ居ルトコロノ現内閣ニ於テモ、此瀆職議員ヲ推薦シタル大臣ガアルデハアリマセヌカ、諸君ガ後援ヲシナケレバナラヌ、諸君ガ援助ヲシナケレバナラヌ内閣ノ首班ノ人マデガ選舉シテ居ルヤウナ時代ニ於テ、之ヲ削ラケレバナラスト云フ理由ハ私共根本ニ於テ、今日ノ各地ノ狀態ニ於テ、斯ノ如ク峻嚴ナル制限ヲ加ヘナケレバナラスト云フ根本ノ理由ハ私共ニ於テ分ラナイノアル、第二ニハ候補者が選舉運動ノ事務所ヲ設ケ、若クハ選舉運動ノ開始ハ一箇月以内ニ非ザレバ開始スルコトヲ得ズト云フ制限ガアル、是ハ私共根本ニ於テ分ラヌノハ、一體選舉ノ競争ト云フモノハ、候補者ソレ自身ガ自ラ勵キ掛ケルモノデアルカ、選舉民が候補者ヲ推薦シテ議員ニ舉ケルモノデアルカ、私共寧口候補者ノ意思ノ如何ニ拘ラズ、選舉民ノ自由ノ意思ニ依テ適當ナル人物ヲ判断シテ、適當ナル者ヲ選舉スベキモノデ、候補者自身、我ハ候補者ナリト云ツテ運動シテ當選ヲ期スルト云フ如キニ至シテハ、却テ選舉界ノ腐敗ヲ來ス一大原因デアルト思シテ居ルノアル、此點ニ付テモ十分ナル説明ヲ得タノアリマス、ソレカラ選舉違反ノ責罰、即チ運動員若クハ選舉長ガ選舉ニ關スル違反行爲ガアル場合ニ於テ、責任ガ候補者ニ及シテ、候補者ト連帶ノ責任ヲ持ツト云フが如キハ、明ニ一般刑事制裁ノ原則ニ反シタモノデアルト私共思フテ居ル、此原則ニ反シテマデ、全ク何等意思ノ聯絡關係ヲ持タヌトコロノ、無關係ノ候補者ニマテ責ヲ及ボサナケレバ、我現在ノ選舉界ノ腐敗ヲ廓清スルコトガ出來ヌト云フ、狀態ニ在ルカドウカ、斯クマデニシテ刑事制裁ノ原則ヲ破壞スルコトヲシナケレバナラスト云フ根本理由ガ、第三ニ於テ分ラナイノアル、第四ニハ此運動員事務員ノ制限、是ハ一體何ヲ標準トシテ斯ノ如キ制限ヲ設ケタノアリカ、今日ノ如ク我國ニ於ケル大選舉區ニ於キマシテ、書記並ニ仕丁マデ入レテ

使マテ入レテ一事務所ニ五人シカ置ケヌト云フ制限ガアルガ、果シテ今日ノ選舉ノ實際ニ於テ、其事務所ヲ果シ得ベキカドウカ、是ハ何ト云フ標準ニ依ツテ、數十里ニ亘ル大選舉區ヲ持テ居ル制度ノ下ニ於キマシテ、斯ノ如ク少數ナル人員若クハ事務所ノ制限ヲ設ケタト云フノハ、其標準ハ何處ニ在ルカ、是ガ第四ニ伺ヒタイノアリマス、最終ニ私ノ伺ヒタイノハ、此法律ハ一體何時カラ施行スル積リテアルカ、施行期限ニ付テ如何ナル考ヲ持テ居ルカ、此法律ガ若シ議院ヲ通過スルト云フ場合ニ於テハ、直チニ此法律ヲ施行スルト云フが如キコトニ相成ツタナラバ、其結果ハドウナルアラウカ、此邊ニ付テ十分ナル考慮ヲ要ベキ問題デアルト思フノアザイマス、是モ明ニ森田君ノ御説明ヲ願ヒタイノアル、私ノ一體考ヘルトコロニ依レバ、森田君ノ如キ本統ニ斯様ナ法律ヲ實際ニ施行スル考デ出シタカドウカト云フコトガ、特ニ聞キタイノアル、斯様ナ世界ニ類例ノナキ殆ド無法ナルトコロノ案ヲ出シテ、而シテ其説明ニ當テハ何等法案自體ニ關係ノナキ瀆職法ナドヲ茲ニ持テ來テ、大聲疾呼シテ其累ヲ現内閣諸公ニ及ボスト云フコトニ相成ツテハ、洵ニ相濟マヌコトデアラウト思フノアリマス(拍手起ル)森田君ノ誠意ノアルトコロヲ實ハ伺ヒタイト思フノアリマス(拍手起ル)

○議長(島田三郎君) 森田小六郎君

(「登壇々々」ト呼フ者アリ)

(森田小六郎君登壇)

○森田小六郎君 唯今ノ廣岡君ノ誠意ヲ有シタル御質問ニ對シテ、本員モ誠意ヲ以テ御答致シマス、第一問ノ被選舉資格ノ制限ニ付テ、私ノ案ニハ刑法第二編第二章、竝ニ第八章ニ規定シマシタコロノ内亂竝ニ騒擾罪ニ關スル犯人ハ除外致シテアリマス、ソレカラ第一ノ推薦ヲセラレテ候補者トナルモノ、自ラ候補者ト稱スルモノニ付テノ區別ニ付テノ御質問ガアリマシタガ、私ノ案ハ自ラ候補者トナルモノニ付テノ規定デアリマス、ソレカラ第一ノ推薦ヲセラレテ候補者トナルモノ、自ラ候補者ト稱スルモノニ付テノ規定ナリモハ、選舉區ニ於ケル届指ノ人物ア、議員候補者ト同等若クハソレ以上ノ人物アリマセヌカラ、衆望ノ歸スルトコロ當選スレバ有效デアリマス(「ソレテハドウモ參政官ニ覽策ナ」ト呼フ者アリ)ソレカラ事務所ノ第二ノ今ノ參謀長ノ選舉違反ニ付テ、議員候補者ニ連帶ノ責ヲ負ハスト云フコトニ付テ御質問ガアリマシタガ、御承知ノ通り參謀長ナルモノハ、選舉區ニ於ケル届指ノ人物ア、議員候補者ト同等若クハソレ以上ノ人物アリマス、選舉運動ニ關係シ、選舉運動者ヲ指揮シ、選舉ニ關スル事務ハ全權ヲ以テ處理スル特殊ノ地位ニ居ルモノデアル、假ニ選舉違反ガアルシテ、其檢舉ノ順序ヲ見ルト、選舉人竝ニ選舉運動者ハ檢舉ヲサレル、サウシテ次イテ參謀長ニ及ビマスケレドモ、檢舉ハ參謀長ニシテ食止マル、議員候補者ハ極メテ安全ナ地位ニ居ル、自治團其他選舉ニ關スル重大ナル事務ヲ、議員候補者ハ極メテ安全ナ地位ニ居ル、參謀長ノ選舉違反ニ付テハ連帶責任ト云フノハ議員候補者ノ本意デハナイケレドモ、致方ナイコトデアラウト思ヒマス(「世間ヲ知ラヌコトヲ言フナ」ト呼フ者アリ)運動員竝ニ事務所ノ制限ニ付テハ、是ハ一方ニ於テ直接勧誘ヲ禁止スル結果、多數ノ選

舉事務所若クハ選舉運動者ハ要シマセバ少ナクトモ私ノ案ニ立ツテ居リマス市ニ於テハ事務所ガ五ツ、郡ニ於テハ十、ソレカラ選舉運動者ハ各事務所五人位ツ、アレハ相當デアラウト思ウテ、此案ヲ立テタノデアリマス（「大勢ヲ見ルノ明ガナイ」ト呼フ者アリ）ソレカラ廣岡君ハ斯ノ如キ奇法虐刑ハ世界何レノ國ニ於テモ類例ヲ見ナイデハナイカト云フ御質問ガアリマシタガ、現ニ英國ニ於テハ之二十數倍スルトコロノ峻嚴ナル法律ヲ持ヘテ居ル、刑法ニ關スル思想ト、憲法附帶ノ法律ニ關スル思想トニ就テハ、區別ヲスル必要ガアルト思フノデアリマス、以上御答辯申シマス

○議長（島田三郎君） 野添宗三君

〔野添宗三君登壇〕

○野添宗三君 提出者ニ質問ヲ致シマスルが（拍手起ル）提出者ハ曩ニ第何回カノ議會アリマシタカ、記憶ハ致シマセバ、大正二年ノ十一月二十四日付ヲ以テ衆議院議員選舉法ノ改正案ヲ御提出ニナッタノデアル、而モ其際ハ衆議院議員ノ被選舉資格ニ就テハ、何等改正ノ條項ヲ加ヘラレナカッタノデアル、今回ノ改正案ニ就テハ此被選

舉權資格ノ制限ニ就テ一條ヲ加ヘラレテ居ルノデアルガ、此點ニ就テ私ハ甚ダ了解ニ苦ム點ガアリマスカラ、御尋ヲ致スノアリマス、衆議院選舉法第十一條ノ四號ト致シマシテ「刑法第一編第二章及第八章ニ記載シタル以外ノ犯罪ニ依リ刑ニ處セラレタル者」斯様ニ規定セントセラルノデアリマスガ、此規定ノ結果ニ依リマスト、内亂罪、騒擾罪以外ノ犯罪ニ因リテ刑ニ處セラレタル者ハ、輕キハ科料ニト云フコトニ相成ルノデアル、而シテ犯罪ノ規定ヲシテ居ルトコロノ法律ハ、單リ刑法ノミテハナイ、其他幾多ノ法律ガアルノデアルカラ、刑罰ハ拘留モアレバ、科料モアレバ、罰金モアル、内亂罪及騒擾罪以外ノ犯罪ニ因リテ刑ニ處セラレタル者ハ、輕キハ科料ニ處セラレタリ、拘留ニ處セラレタル者ハ、衆議院議員ノ被選舉權ヲ失ツテ、議員タル資格ヲ喪失シナケレバナラヌト云フ御趣意ノ下ニ、斯様ノ規定ヲ掲グラレタノデアルカ、例ヘバ議員ニハ左様ナ不品行ナ人が無イカモ知レマセバ、街路ニ於テ放尿ラシテワレデ科料ニ處セラレタ云ヘバ、科料ノ裁判ガ確定ヲシクラバ議員資格ヲ喪失スルト云フ御趣意デアリマスカ（拍手笑聲起ル）又犯罪中ニハ單リ故意ニ因リテ犯ストコロノ罪ノミテハナイ、過失ト云フコトモアルノデアル、偶々過失ニ因リテ刑ニ處セラレタル事實アリト致シマスレバ、之ヲ原因トシテ衆議院議員ノ被選舉權ヲ失フノデアル、議員タル資格ヲ喪失スルト云フコトニ相成シテモ宜イト云フ御考ニアリマスカ、洵ニ大膽ナル刑ヲ掲グラレタルモノデ、寧ハ、私ハ甚ダ怪訝ニ堪ヘナイデアル、曩ニ瀆職罪ニ因リテ刑ニ處セラレタル方デアシテ、今日議員ニ對スル推薦ニ依テ御當選ニナッタ御方デアル（拍手起ル）政府與黨ノ森臣ノ選舉人ニ對スル推薦ニ依テ御當選ニナッタ御方モアルサウテアル、併ナカラソレ等ノ人ノ多クハ内閣諸大臣ノ面目ヲ傷ケントスルモノデハナイノデアルカ（拍手起ル）否ラザレバ甚ダ本案ハ滑稽化スルトコロノ提案ト私ハ信ズルガ、森田君以テ如何ト爲スト云フコトヲ御尋シタイノデアル、ソレカラ現行衆議院議員ノ選

舉法ノ上ニ於キマシテハ、第十一條ノ第三號ニ「剝奪公權者及停止公權者」ト云フコトガ掲ゲテアリテ、此規定ヲ削ラズシテ更ニ第四號ニ「刑法第一編第二章及第八章ニ記載シタル以外ノ犯罪ニ依リ刑ニ處セラレタル者」ト云フコトヲ御加ヘニナルガ、ドウ云フ譯テアルカ、第十一條ノ第三號ニ「死刑無期刑又ハ六年以上ノ懲役若クハ禁錮ニ處セラレタル者三當ルノデ、及六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレタル者アツテ、刑ノ執行中ニアル者若クハ刑ノ執行猶豫期間中ニアル者ノ如キモ含シテ居ルノデアリマス、斯様ナモノガ即チ現行選舉法ノ第十一條ノ第三號ニ該當スルノデアル、之ヲ此儘ニ置イテ更ニ第四號ノ規定ヲ御加ヘニナルト云フコトハ、或ル一部ニ於テ重複フ致ス結果ニナリハ致シマセヌカ、此點ヲ明白ニ御答アランコトヲ希望致シマス（拍手起ル）

○森田小六郎君 議長  
〔登壇キヤ」ト呼フ者アリ議場騒然〕

○森田小六郎君……（議場喧囂聽取スル能ハズ）  
〔何ヲ言フカ分ラヌ」「登壇スベシ」ト呼フ者アリ）

○議長（島田三郎君） 静浦……

〔議場騒然〕

○森田小六郎君……（議場喧囂聽取スル能ハズ）  
〔何ヲ言フカ分ラヌ」「登壇スベシ」ト呼フ者アリ）

○荒川五郎君 議長  
〔議長タタ」ト呼フ者アリ議場騒然〕

○議長（島田三郎君） 荒川五郎君  
〔拍手起ル〕

○議長（島田三郎君） 本案ハ重大ナ案ニアリマスカラ、特別委員ニ付託シテ審査アラシコトヲ希望致シマス、（議場騒然）而シテ其委員ハ十八名トシ議長ニ於テ指名セラレシコトアリマスカ（拍手起ル）暫ク御聽キ下サイ（「採決スベシ」ト呼フ者アリ）静マラナケレバ何時マデモ議長ハ待ツテ居ル——暫ク待ツテ居リマス——静ニ——森田君ハ議席カラ簡單ニ答ヘラレマシテ、サウシテ荒川五郎君ノ委員付託ノ發議ガアリマシタ

〔ノウヘ」「サッパリ分ラヌ」「議長タタ」ト呼フ者アリ議場騒然〕  
○議長（島田三郎君）……（議場喧囂聽取スル能ハズ）マスカラ 荒川君ノ説ヲ會議ニ諮ヒマス、荒川君ノ説ニ賛成ノ方ノ起立ヲ望ミマス

○議長（島田三郎君） 多數ト認メマス  
〔拍手起ル〕

〔異議アリ異議アリ」ト呼フ者アリ議場騒然〕

○議長（島田三郎君） 委員ノ選舉並ニ議事日程ハ、公報ヲ以テ御通知ヲ致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後二時十一分散會